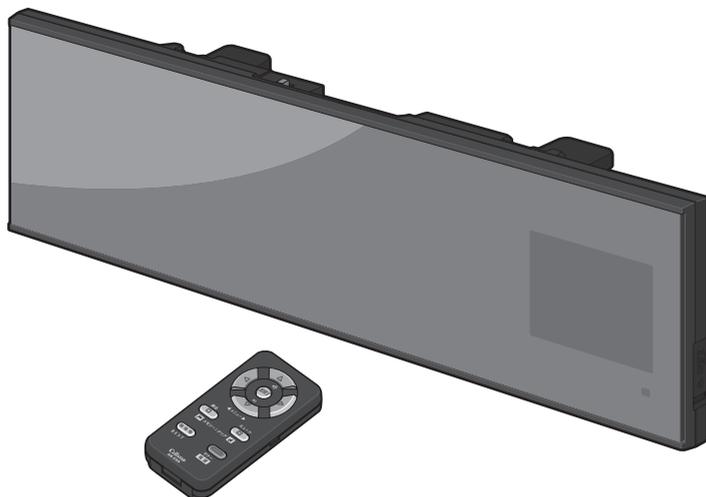


Produced to assure your safety.

ASSURA[®]

AR-710MT [®]

ハーフミラータイプ GPS レーダー探知機 取扱説明書



Copyright © 2009 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.
Cellstar および ASSURA は、セルスター工業株式会社の登録商標です。
microSD™ は SD アソシエーションの登録商標です。
microSD Logo は登録商標です。
その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本書は、資源有効活用を目的として、環境に配慮した大豆油インクを使用しております。

micro
SD

PRINTED WITH
SOYINK

ご購入のお客様へ

この度は、弊社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。
なお、お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

本製品は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。
速度の出すぎに注意して走行してください。
また、緊急車両が接近した場合には速やかに道をお譲りください。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな？と
思ったら

アフター
サービス

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明していきます。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害※の発生の可能性が想定される」内容です。 ※物的損害とは、車両・家屋・家財等に関わる拡大損害を示します。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。
	この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。
	この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

⚠ 危険

	本製品はDC12V専用です。他の電圧での使用は故障の原因になりますので、絶対におやめください。
	走行中に本製品の操作や画面の注視をしないでください。※交通事故の原因となります。
	万一、故障した場合は直ちに使用を中止してください。※そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
	医療用電気機器の近くでは使用しないでください。※ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。
	水につけたり、水をかけたり、又、ぬれた手では絶対に操作しないでください。※火災や感電、故障の原因となります。
	煙が出ている、変な臭いがあるなど異常な状態のままでは使用しないでください。※発火して火災の原因となります。

⚠ 警告

	運転や視界の妨げにならない場所、又は自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。※誤った取り付けは交通事故の原因となります。
	エアバッグの近くに取り付けたり配線したりしないでください。※万一エアバッグが作動した時、本体が飛ばされ事故やケガの原因となります。また、配線が妨げとなりエアバッグが正常に動作しないことがあります。
	電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工したりしないでください。電源コードが傷ついた場合には直ちに使用を中止してください。※感電やショートによる発火の原因となります。
	本製品は精密機器です。分解や改造は絶対にしないでください。※発熱、火災、ケガの原因となります。
	ぬれた手でシガーライタープラグの抜き差しをしないでください。また、ぬれた状態のプラグを差し込むなどの行為もしないでください。※火災や感電、故障の原因となります。

⚠ 注意

	穴や隙間にピンや針金を入れないでください。※感電や故障の原因になります。
	本製品は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
	夏の炎天下、真冬の駐車の際はできるだけ本製品を取り外してください。※性能の劣化、本体の変形をまねく原因となります。
	一部のカーナビゲーションと同時に使用すると、本製品が鳴り続ける場合があります。
	本製品を取り付けている、いないの状態にかかわらず、速度違反や駐車違反などに関して、弊社では一切の責任を負いかねます。
	microSDカードの挿入、取り外しをするときは、microSDカードスロットに顔を向けしないでください。※ケガの原因になります。

はじめて

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな？と思ったら

アフターサービス

はじめに

安全上の注意	2
もくじ	3
使用上の注意	4
本製品の特徴	5
付属品の確認	6
各部の名称と機能	7

本製品の設置

電源の取り方	8
シガーライターから電源を取る方法	8
ヒューズボックスから電源を取る方法	8
ACC線から直接電源を取る方法	9
ミラーへの取り付け	10
左ハンドル車に取り付け	10
配線処理	11
リモコンの取り付けと使用方法	12
microSDカードの使用方法	13

本製品の起動

電源を入れる	14
電源を切る	14

画面の説明

画面の見方(待受画面)	15-16
画面の見方(警告案内)	17
各種GPS警告案内例	18
各種GPS警告の種類と内容	19-21
各種無線警告の種類と内容	22-23
各種レーダー波警告の種類と内容	24

各機能の設定

各種設定の操作方法	25
BESTセレクト機能とは	25
BESTセレクト機能と設定一覧	26-27
画面の設定	28
明るさの設定	28
モーションエリアビューのオン/オフ設定	28
警告表示方法の設定	28
画面のオン/オフ設定	28
待受画面の選択	29
待受背景の選択	29
スクリーンセーバーの設定	29
音量の調節	30
警告音のミュート	30
マナーモード	30

各機能の説明

GPS測位について	31
GPS警告ポイント消去機能	31
ユーザーメモリーセレクト	32
レーダーキャンセルメモリー機能	33
ロード自動選択	34
速度取締機カウンタダウン	34

各機能の説明

平均速度超過警告	34
レーダー波受信感度オート切替え	35
L.S.C.機能	35
エリアタイムディマラー機能	35
1キロ圏内サーチ機能	35
通過速度履歴確認機能	35
自宅案内	35
速度アラーム	36

その他の機能

オートトーンダウン機能	37
レシーバーオートミュート機能	37
スキップ機能	37
反則金データベース表示機能	37
マイカー情報登録	38
飲酒運転警告機能	38
日差し注意	38
時報アナウンス機能	38
トンネル案内	39
安全運転アナウンス	39
長時間休憩案内	39
長距離走行案内	39
ヘッドライト点灯案内	39
GPSデータ更新	39
GPSスポット追加機能	40
走行ログ記録	40
本製品の全リセット	41
ディスプレイモード	41

故障かな?と思ったら

	42
--	----

アフターサービスについて

保証書について	43
修理を依頼される時	43
リモコンの紛失について	43
個人情報に関して	43
GPSデータの更新について	43
仕様・定格	44
新設速度取締機、Nシステム、 取締りポイントの情報提供のお願い	44
各地域のお客様相談窓口一覧	44

本製品に搭載されている地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、国院発行の数値地図25000(空間データ基盤)を使用したものである。(承認番号 平20業使_第433号)

使用上の注意

はじめて

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かなと思ったら

サーバー

■ 取付けについて

- 取付けになる車両のウィンドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低い為に GPS 信号、レーダー波、各種無線の受信がしにくい場合やできない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。
- 本製品は、防水構造ではありません。必ず車内へ取付けてください。
- 本製品は、車載のナビゲーション（地上デジタルチューナー、カーナビ、ETC 等）や電源ノイズの影響により、特定チャンネルを連続的に受信する場合や GPS を含む各種無線が受信できなくなる場合があります。また、本製品の取付け位置によっては、お互いの動作に影響が出る場合があります。これは故障や不良ではありません。その場合には、十分間隔をとって取付けてください。
- 車内で TV の 56ch をチャンネルを設定していると、本製品が GPS 測位をできなくなる事があります。これは故障や不良ではありません。
- 一部の車種において付属のシガーライター用スイッチ付き DC コードが、シガーライターソケットの形状に合わない場合があります。また、禁煙車など、シガーソケットが装備されていない車の場合は、付属の直結配線用 DC コードを使用してください。
- 直結配線用 DC コードでのお車の取り付けには専門的な知識を必要とします。お買い求めになられた販売店などでのお取り付けをお勧めします。

■ 各種 GPS 警告について

- 各種 GPS データは、弊社独自調査によるデータと、公表されているデータを参考に集計、作成しています。
- 取締りポイントおよび待伏せエリアは、取締りの目撃情報に基づき登録されています。
- 凍結注意アナウンスは、独自調査による、道路凍結しやすい地点、期間でお知らせします。
- 事故多発エリアは警察庁、国土交通省の統計データにより集計しているのですが、集計の時期またはその後の道路の改良などにより実際の状況と異なる場合があります。また首都圏や都市部などでは事故多発エリアが集中し警告が頻繁におこなわれる場合があります。

■ 各種無線の受信について

- 受信内容は第三者に漏洩する事は電波法により禁止されています。
- 各種無線は常に使用されています。本製品での受信は、無線が使用され、電波が出ている場合に限りです。
- 電波の状態等によって受信状態が変化します。
- 受信電波がデジタル通信の場合は、音声を聞く事ができません。
- 一部地域では各種無線が配備されていない、またはシステムが異なる、変更されるなどの理由により受信する事ができない場合があります。
- レッカー無線は簡易業務用無線の為、同一チャンネル内の他業種無線を多く受信する場合があります。
- 新救急無線は、主に東京都内で使用されている救急無線です。

■ 各種警告案内について

- 本製品は、本製品に登録、記録されたデータ、及び GPS 信号、レーダー波を含む各種無線を受信し、それを独自に計算されたデータを利用して警告を行います。その為、登録、記録されていない地点や、GPS 測位が不安定、未測位の場合、及び各種無線が受信できない場合には、警告動作をおこなうことが出来ません。また、警告内容と実際の状況などが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品でお知らせする制限速度は、天候、その他による臨時規制や時間帯で変化する速度規制には対応していません。
- 制限速度切り替えポイントは、インターチェンジやジャンクションなどの接続部や料金所などによる制限速度の切り替えはお知らせしません。
- トンネル案内は、有料道路、都市高速（首都高速、阪神高速など）では案内しません。
- ロード自動選択機能は、現在の走行状態が一般道か高速道を走行中かを自動判断し、警告対象道路を自動で設定するため、走行状態によっては実際の状態と異なる設定となる場合があります。確実に警告を出したい場合には、ロード自動選択を「オフ」に設定してご使用ください。
- ズームマップは、取締機のみ表示されます。また実際の走行中の道路と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- トンネル内オービス/トンネル出口警告は G センサーにて自車位置を特定するため、実際の位置と異なる場合があります。
- 本製品でお知らせする飲酒運転警告案内は飲酒運転をしない様に注意を促すもので飲酒検問等をお知らせするものではありません。
- ドライブ/エコ情報については弊社独自により算出しています。

■ レーダー波受信について

- 設置されている速度取締機の中には稼働していないものもありです。この場合、レーダー波を使用している種類であってもお知らせすることができない場合があります。
- 取締りレーダー波以外でも、同一チャンネル等の電波を受信し警告動作をする場合がありますが、誤動作ではありません。
- ステルス波の受信によるステルスアラームは、その性質上距離的余裕をもってお知らせする事ができません。ステルスアラームが鳴った時にはすでに計測されている場合があります。
- 大型車の後方を走行する場合やカーブの急な道路を走行する場合、レーダー波を受信しにくい状態になる場合があります。

■ カーロケータースystemについて

- カーロケータースystemは全ての警察関係車両に搭載されています。また搭載されていても常時電波を発信していません。
- カーロケータースystemの受信については、導入されていない又はシステムが変更されている地域では受信することができません。

■ ディスプレイについて

- 待受画面と同じ映像を長時間表示したり、繰り返し表示（短時間でも）した場合、ディスプレイの特性により画面の焼付けが起こる可能性があります。これは不良や故障ではありません。また保証対象になりませんが、あらかじめご了承ください。スクリーンセーバーを使用したり、ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減させることができます。
- ディスプレイの中に小さな黒い点や、輝点が発生する場合があります。またすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらはディスプレイの特性、または構造によるものであり、不良や故障ではありません。本現象のディスプレイの修理は、保証対象になりませんがあらかじめご了承ください。
- ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。お車に設置する際には、ご注意ください。
- 偏光サンガラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。

■ ハーフミラーについて

- 夜間走行の際、ミラーが暗く見えづらい場合があります。これはハーフミラーの特性によるもので、不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

■ G センサーについて

- GPS が受信していない場所での完全な自車位置の検出をおこなうものではありません。

■ microSD カードスロットについて

- microSD™ は SD アソシエーションの商標です。
- ご使用に際しては、必ず「microSD カード」のデータのバックアップを作成してください。記録されたデータの破損、消失については故障や損害の内容、原因に関わらず弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様が記録、録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。

■ カスタマイズ / 走行ログ / GPS スポット機能について

- カスタマイズ / 走行ログ / GPS スポットの機能を使用する際には市販の「microSD カード」、それを読み書き出来、なおかつインターネットへの接続が可能なパソコン環境が必要となります。また機能によっては本製品での使用に適したデータを作成する必要があります。データの作成方法については、弊社 HP をご参照ください。URL: <http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>

■ データ更新について

- ダウンロードによりデータ更新をおこなう場合、市販の「microSD カード」、それを読み書き出来、なおかつインターネットへの接続が可能な環境が必要となります。

■ その他の注意について

- 本製品は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないください。
- 製品のデザインや仕様は、改良等のため予告なく変更する場合があります。
- 本製品の誤った取扱いによる車両や車載品などの事故・破損・故障・損害等が発生しましても弊社では一切の責任を負いかねます。また保証なども一切ありません。
- 本製品は、安全運転を促進する目的で製造販売されています。くれぐれも、速度の出し過ぎや飲酒運転は絶対にやめください。また、緊急車両が接近した際には速やかに道を譲ってください。

◎ 本製品の特徴

3×G搭載

- G-sensor **新採用 G センサー**
- GPS-Point **高精度 GPS データ**
- Graphic **多彩なグラフィック**

3×G

新採用Gセンサー(G-sensor)搭載によりレーダー探知機の弱点であったトンネル内ビル群・高架下等のGPSをLOSTしてしまうポイントでも計測を続けて、セルスター独自の高精度GPSデータ(Gps-point)を逃さず警告します。さらに多彩になった3D CG(Graphic)。3つのGの融合により生まれた警告を逃さない新システム「3×G」。飛躍的に進化したASSURAで安心して快適なドライブをお楽しみください。

GPS(Global Positioning System)



GPSとは地球の衛星軌道上にある24個のGPS専用の人工衛星からの信号を利用して位置情報を算出するシステムです。

Gセンサー搭載



新搭載のGセンサーで今まで出来なかったトンネル内の警告も可能になります。
※特許出願中

イオス：Effective Operation System



心よく、効率的の良いドライビングサポートを実現させるシステムを採用。GPS情報と登録データを連動させ、常に走行状況を把握することで、自動的に走行速度に合わせた警告内容を判断します。走行状況によりボイスアシストの内容が変化するなど、快適な使用感をご提供いたします。

ピー・キャン



常に適切なドライビングサポートをおこなえるよう、自動ドアなどによるレーダー警告音や取締機の撤去などで必要のなくなったGPS警告音を、ワンタッチ操作で簡単にキャンセルさせることができます。

BESTセレクト機能



“BESTボタン”をワンタッチ操作するだけで、機能設定が完了。面倒な設定操作を必要とせず、あらかじめ設定されている「オールモード(全ての警告動作を実行)」「標準モード(お薦めてくる標準的な設定)」と、自由にカスタマイズ可能な「マニュアルモード1(初期設定が高速道向け)」、「マニュアルモード2(初期設定が一般道向け)」の4つを状況に合わせて切り替えることで、より便利で簡単にご使用いただけます。

L.S.C.(ロー・スピード・キャンセラー)機能

設定した速度以下の走行や停止時に、レーダー警告音を自動的にキャンセルします。

参照 L.S.C.機能 ▶ P35

eco & safety

車にも環境にもやさしい運転をサポート

eco & safety

エコ運転で地球にも車にもやさしい。選べる2種類のエコ待受け!

急加速・急減速・アイドリング時間・エコ速度・運転時間・走行距離・平均速度・CO₂排出量等をお知らせします。総合的に判定し、ecoな運転をしているかを表示します。



いろいろカスタマイズ!



microSD™カードでGPSデータのダウンロードもおもしろカスタマイズも自由自在!

待受画面



駐車エリア



駐車エリア



microSD カードによる待受画面、警告画面や音声のカスタマイズ、およびGPS データの更新について詳しくは、以下のWeb ページをご覧ください。
<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>

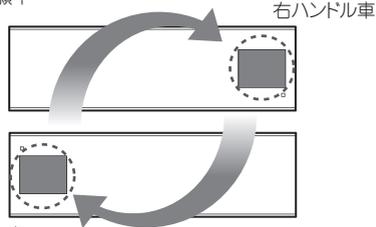
走行ログ記録

走行ログ(NMEA準拠フォーマット)を内部メモリに記録し、microSDに転送することができます。作成したデータは、市販の地図ソフトを使って、地図上に走行経路を表示することができます。

参照 走行ログ機能 ▶ P40

自動回転機能で簡単設置!

左・右ハンドル車、どちらでもOK。画面は自動で反転します。
※特許出願中



左ハンドル車

右ハンドル車

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな?と
思ったら

アフター
サービス

付属品の確認

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

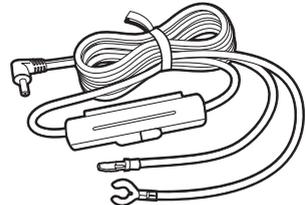
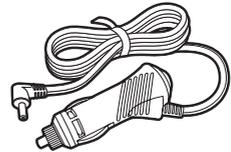
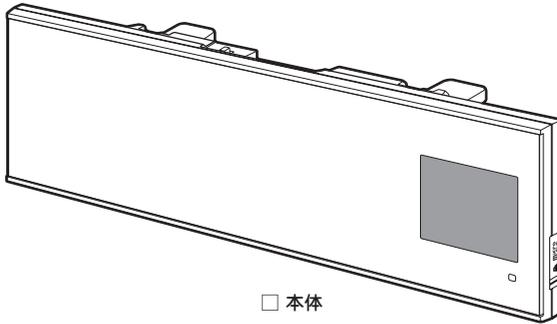
各機能の設定

各機能の説明

故障かな？と
思ったら

アフター
サービス

はじめに、同梱物の確認をおこなってください。



参照 リモコン用電池の装着方法 ▶ P.12

- 取扱説明書(本書)
- 保証書

※その他注意書きが同梱している場合があります。

オプション品

別途お買い求めください。

- RO-102



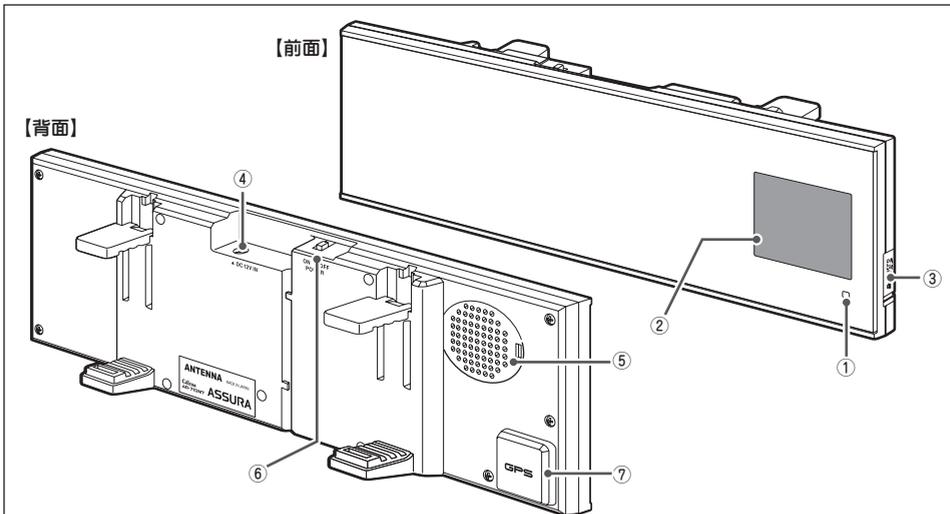
電源スイッチ付DCコード
(カールタイプ)

詳しくは当社ホームページをご確認ください

<http://www.cellstar.co.jp>

各部の名称と機能

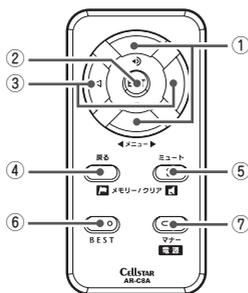
本体の名称と機能



- | | |
|---|---|
| <p>① 赤外線受光部
リモコンから送信される赤外線を受光します。</p> <p>② ディスプレイ
レーダー受信時、GPS警告時、各種無線の受信時に警告画面を表示します。また、マニュアルモードなどで各種設定内容を示します。</p> <p>③ microSDカードスロット
待受画面を追加したり、本製品内蔵の画像／音声を差し替える際に使用するmicroSDカードを挿入します。</p> | <p>④ DC12Vソケット
DCコードを接続し、DC12Vを本製品に入力します。</p> <p>⑤ スピーカー
警告音や、ボイスガイドなどの音が出ます。</p> <p>⑥ 電源スイッチ
電源のON/OFF をします。</p> <p>⑦ GPS
GPS衛星を受信します。</p> |
|---|---|

リモコンの名称と機能

【リモコン】



- ① ▲▼ボタン
音量を調整するときに使用します。また、各種設定変更時の設定切り替えに使用します。
- ② ENTボタン
設定操作の決定や、通過速度の確認、1 キロ圏内サーチ機能、ワンスキップの操作をするときに使用します。
- ③ ◀▶ボタン
設定メニューの選択時に使用します。
- ④ 戻るボタン
ユーザーメモリー機能やGPS警告ポイント消去機能などを設定するときに使用します。また、各種設定の操作などを中止するときにも使用します。
- ⑤ ミュートボタン
ミュート機能、スキップメモリー、レーダーキャンセルメモリーなどの設定をするときに使用します。
- ⑥ BEST ボタン
BESTセレクト機能の切り替えや設定チェックをするときに使用します。
- ⑦ 電源ボタン
本体の電源をON/OFF します。またマナーモードを切り替えるときや、反則金データベースを表示するときに使用します。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな？
思ったら

アフター
サービス

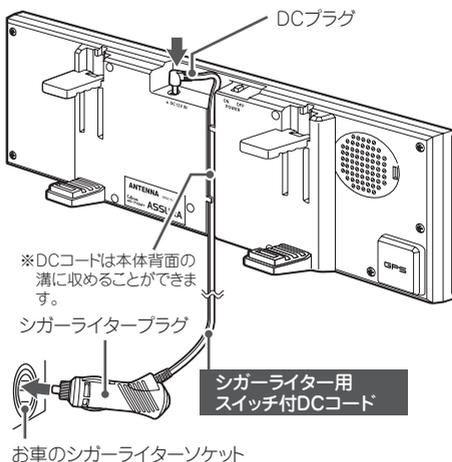
電源の取り方

⚠️ 取り付け上の注意

- 本機の取り付けには専門的な知識を必要とします。お買い求めになられた販売店などでの取り付けをお薦めします。
- 取り付け、配線は視界の妨げ、運転の妨げ、また車両の機能(ハンドル、ブレーキなど)の妨げにならないように注意し確実に行ってください。
- エアバッグの近くに取り付けたり、配線したりしないでください。
- 本体の取り付け場所、各コードの配線処理によっては、ノイズなどによる車両への影響、また周辺の電子機器の影響を受ける場合があります。
- DC コードを無理に曲げたり、つぶしたり、加工しないでください。
- 直結配線用DC コードを使用して配線をおこなう場合、ショート事故防止のため、あらかじめバッテリーの(-) マイナス端子を外して作業を行ってください。
- 直結配線用DC コードでの配線の場合には、確実にお車のボディにアース接続してください。
- シガーライター用スイッチ付DC コードをシガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らないでください。

シガーライターから電源を取る方法

シガーライター用スイッチ付DCコードのプラグを、お車のシガーライターソケットに接続してください。



⚠️ 注意 一部の車種において付属のシガーライター用スイッチ付DCコードが、シガーライターソケットの形状と合わない場合があります。

ヒューズが切れた場合

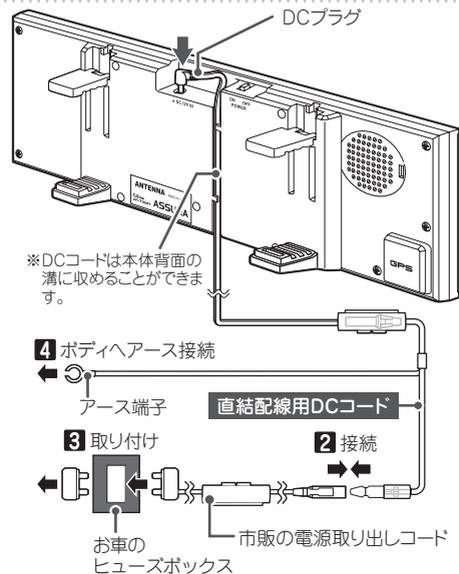
ヒューズ(1A)を交換します。



ヒューズボックスから電源を取る方法

市販の電源取り出しコード(平型ヒューズタイプ)をご使用いただくことで、ヒューズボックスから電源を取ることができます。

- 1 ACC オン/オフ に連動するヒューズボックス内のヒューズ(シガーライター、ラジオなど)を探します。
- 2 直接配線用DCコードと電源取り出しコードを接続します。
- 3 ヒューズボックスのヒューズを抜き、電源取り出しコードをバッテリー側に差し込みます。
- 4 直接配線用DCコードのアース端子をお車のボディに接続します。



⚠️ 注意 エンジンをかけて本製品の電源がONにならない場合は、以下の点を点検してください。

- 本体の電源スイッチ
- コード類の接続
- お車、または直接配線用DC コード内のヒューズ

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな?と
思ったら

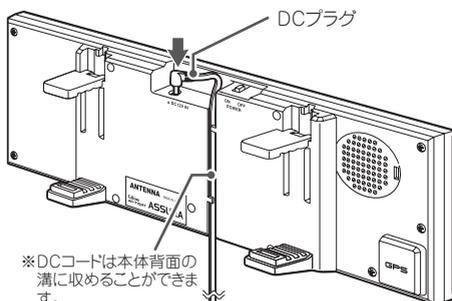
アフター
サービス

電源の取り方

ACC線から直接電源を取る方法

市販のエレクトロタップなどをご使用いただくことでお車のACC線から直接電源を取ることができます。

- 1 テスターなどで、お車のキーをACC ONにしたときに12V、OFFにしたときに0VになるACC線を探します。
- 2 直結配線用DCコードのギボシ端子を切り落とし、市販のエレクトロタップなどを使用してお車のACC線へ接続します。
- 3 直結配線用DCコードのアース端子をお車のボディに接続します。



- 3 ボディへアース接続
アース端子
- 2 切断してお車のACC線へ接続
直結配線用DCコード
ギボシ端子

⚠ アース端子接続の注意

アース端子はボディの金属部に接続してください。

【取り付けに適している場所】

車の電装のアースポイント（コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ）

【取り付けに適さない場所】

- アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めているネジ（タッピンネジなど）
- チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作（上下）する金属部分

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな？と
思ったら

アフター
サービス

本製品の取り付け方

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

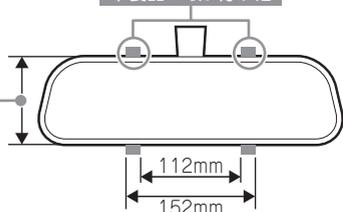
故障かな？と思ったら

アフターサービス

⚠️ 取り付けの注意

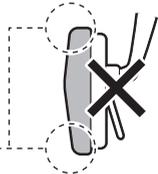
- ・本製品は下記寸法内のルームミラーに取り付けて使用することができます。
- ・自動防眩ミラー、特殊なサイズや形状のルームミラーには取り付けることができません。

本製品の取り付け幅



58mm~88mmに取り付けることができます。

・純正ルームミラーの形状によっては取り付けできない場合があります。

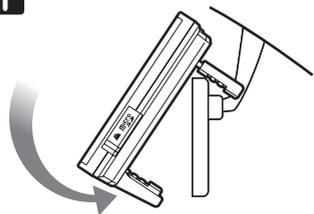


曲面があるものやフックが掛からないもの。

・ルームミラーに強い荷重がかからないよう、ルームミラーを支えて取り付けてください。
また、車体への取り付け強度が弱い一部の車種などは、破損の原因となりますのでご注意ください。

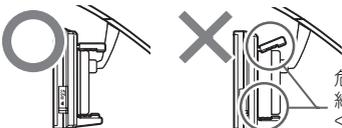
ミラーへの取り付け

1 本体をルームミラーにはめます。



2 DCソケットにDCプラグを接続します。

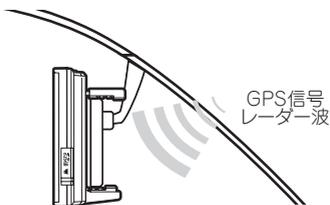
振動により落下しないために、アーム部分を曲げず、お車のミラーに本体を密着させ、しっかり取り付けてください。



危険ですので絶対にお止めください。

⚠️ 注意

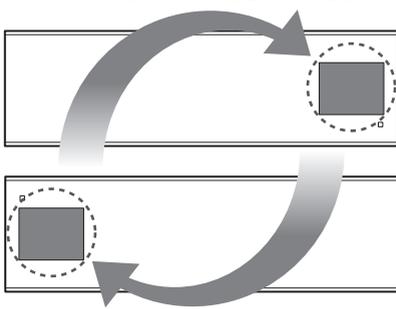
- ・本製品は上空からのGPS信号受信と前後方向からのレーダー波を受信してお知らせします。そのため本体の上や前(車の進行方向)などに、金属などの障害となるものがないように本体をお取り付けください。



一部車種のウィンドウに採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低いためGPS信号やレーダー波の受信がしにくい場合やできない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。

左ハンドル車に取り付け

左ハンドル車で本製品をご使用になる場合、本体を上下逆さまにしてルームミラーに取り付けます。
Gセンサーの機能により、数秒後、自動的に反転表示します。

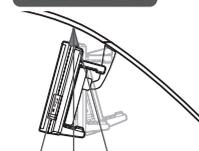


⚠️ 角度の調整について

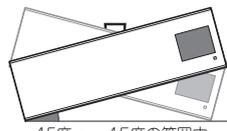
- ・本体を下図の角度の範囲内で取り付けない場合、Gセンサーが正しく動作しないことがあります。

横から見た角度

正面から見た角度



15度 ~ -15度の範囲内



15度 ~ -15度の範囲内

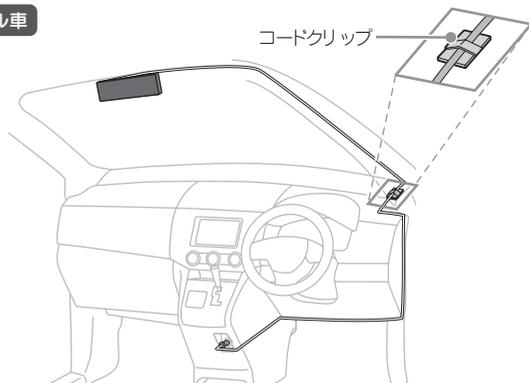
※範囲内で設置した場合、自動的にGセンサーの補正をおこないます。
※常に一定方向のGを表示している場合、水平な場所で電源を入れなおしてください。

本製品の取り付け方

配線処理

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。

配線例：右ハンドル車



注意

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業を行ってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。
- コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードをお車のダッシュボードなどに固定した場合、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分にご注意ください。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな？
思ったら

アフター
サービス

リモコンの取り付けと使用方法

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

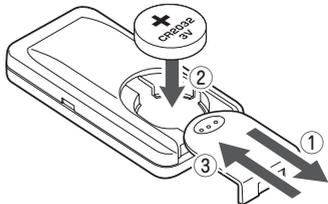
故障かな？と
思ったら

アフター
サービス

リモコン用電池の装着方法

本製品ではボタン電池(CR2032)を使用します。初めて本製品をご使用になる場合は、リモコンに同梱の電池を装着してください。また、リモコンが作動しにくくなった場合は、市販されている新しい同型の電池に交換してください。

1 電池カバーを後ろにずらして外します。



2 電池を下図のように「+」側を上にして、リモコンに納めます。

3 電池カバーをはめ直します。



警告

- ・電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- ・電池は充電、分解、変形、加熱、はんだ付け、火に入れるなどしないでください。



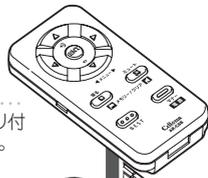
注意

- ・電池の「+」「-」を逆に入れてください。
- ・長期間、機器を使用しない場合は、機器から電池を取り出して保管してください。
- ・同梱の電池は、モニター用電池です。

リモコンの取り付け

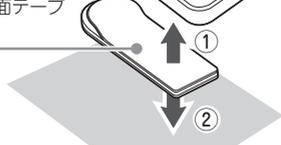
リモコンを紛失しないように、リモコンホルダーをお車に固定すると便利です。

1 リモコンホルダーとリモコン取付用両面テープを貼り付けます。



2 リモコンホルダーを取り付け箇所にはり付けます。

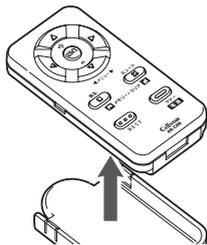
リモコンホルダー
取付用両面テープ



3 リモコンをリモコンホルダーに納めます。

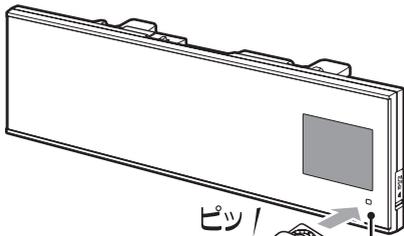
リモコンの取り外し

下図の矢印の向きにリモコンホルダーから取り外します。



リモコンの操作方法

リモコンを右図のように持ち、本体の赤外線受光部に向けてボタンを押してください。



注意

- ・リモコンを紛失いたしますと、本製品の操作をおこなうことができません。紛失しないよう、十分ご注意ください。
- ・本体の赤外線受光部およびリモコンの赤外線送信部に直射日光が当たっている場合、リモコンが操作できなくなる場合があります。これは本製品の製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

microSD カードの使用方法

本製品では市販のmicroSDカードを使用して、本製品に内蔵している警告画面や待受画面、またはスピーカーから出力される音をお好みのものに差し替えたり、GPSデータを更新することなどができます。

microSD カードによる待受画面、警告画面や音声のカスタマイズ、およびGPS データの更新などについて詳しくは、以下のWeb ページをご覧ください。

<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>

- ※ 本製品はSD 規格に準拠したFAT16形式でフォーマットされたmicroSDカードが使用できます。
- ※ 本製品では、8MB~1GB までのmicroSDカードが使用できます。
- ※ 本製品では、SDHCのmicroSDカードは使用できません。
- ※ microSD™ はSDアソシエーションの商標です。

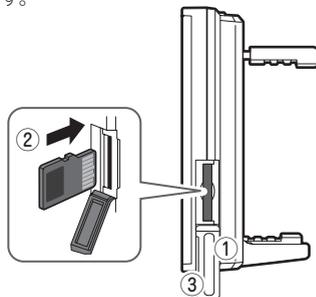
⚠ microSD カードに保存したデータの取り扱いについて

- ・ 本製品は、使用の誤り、静電気、電氣的ノイズの影響を受けたとき、故障・修理が発生した場合などにお客様が保存したデータが破損してしまう場合があります。microSD カードを使用する前にデータのバックアップを取っておくことをお勧めします。なお本製品におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ お客様が記録、録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。

- 参照 待受背景の選択 ▶ P29
- 参照 スクリーンセーバーの設定 ▶ P29
- 参照 GPSデータ更新 ▶ P39
- 参照 GPSスポット追加機能 ▶ P40
- 参照 走行ログ記録 ▶ P40

microSDカードの挿入

- 1 本体左側面のmicroSDカードスロットカバーを開けます。



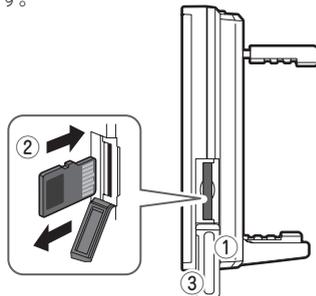
- 2 microSDカードの向きに注意して「カチッ」と音がするまで押し込みます。

- 3 カバーを閉じます。

microSDカードの取り出し

画面に「microSDカードを抜かないで下さい」と表示されていないことを確認してください。

- 1 本体左側面のmicroSDカードスロットカバーを開けます。



- 2 挿入されているmicroSDカードを「カチッ」と音がするまで押し込むと、microSDカードが排出されます。

- 3 microSDカードを取り出し、カバーを閉じます。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな？と
思ったら

アフター
サービス

電源を入れる / 電源を切る

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

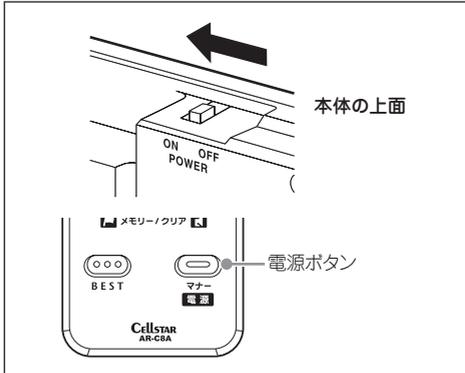
各機能の設定

各機能の説明

故障かな？と
思ったら

サポーター

電源を入れる



1 お車のエンジンを始動します。

2 本体の「電源スイッチ」を「ON」にします。
またはリモコンの「電源ボタン」を約3秒間押し続けます。電源が入るとウェルカムボイスで、シートベルトの着用または全国交通安全運動週間中の案内や飲酒運転警告をお知らせします。

※ご購入後、はじめて電源を入れた日が交通安全運動期間中の場合、交通安全運動期間中の案内はございません。シートベルトの着用案内をお知らせします。また、はじめて電源を入れた時間が夜間の場合でも飲酒運転警告はございません。

※リモコンによる電源ON操作はリモコンにより電源OFFした後、有効となります。

⚠️ お買い求めいただいて初めてお使いになる場合

GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合があります(約15分程度)、これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位に20分以上かかる場合は電源を入れ直してください。GPS測位が確定すると「トピンボン、GPSを測位しました。」とお知らせします。

オープニング画面



通常時はシートベルト着用のお知らせをします。



飲酒運転警告機能の設定がONの場合、夜間に本製品の電源が入ったときにお知らせします。



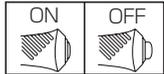
4月6日～4月15日*の春の交通安全運動週間にお知らせします。

※4年に一度おこなわれる統一地方選挙のある年だけ、5月11日～5月20日に変更になります。



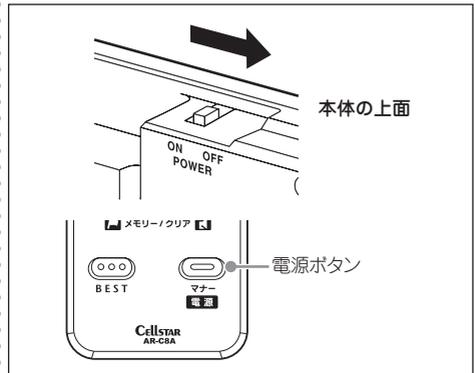
9月21日～9月30日の秋の交通安全運動週間にお知らせします。

シガーライター用スイッチ付DCコードで電源をON/OFFする



※ヒューズが切れた場合は1Aのものとお交換してください。

電源を切る



1 本体の「電源スイッチ」を「OFF」にします。
またはリモコンの「電源ボタン」を約3秒間押し続けます。約1秒後反則金データベースが表示されますが、そのまま押し続けてください。

画面の見方(待受画面)

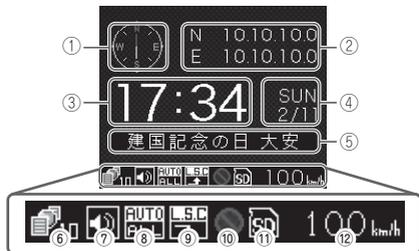
本製品が起動すると、次の待受画面を表示します。各種警告や案内をおこなうたびに画面が切り替わります。

オール

工場出荷時の設定

参照 待受画面の選択▶P29

全ての情報を表示する待受画面です。



! 表示されるデータは目安としてご使用ください。

- ① 方位
GPSによって自転車の進行方向を表示します。
- ② 緯度経度
GPSによって自転車の緯度経度を表示します。
- ③ 時刻
GPSによって現在の時間を表示します。
- ④ 曜日/月日
GPSによって現在の曜日や月日を表示します。
- ⑤ 祝日/六曜
GPSによって現在の祝日や六曜を表示します。
- ⑥ 測位しているGPSの状況と個数

	GPSとGセンサーで測位のときに表示
	赤色表示 GPSが未測位のときに表示
	Gセンサーで測位のときに表示

- ⑦ 音声出力の状況
- | | |
|--|----------------|
| | 通常出力のときに表示 |
| | マナーモードのときに表示 |
| | ミュート(消音)のときに表示 |

- ⑧ ロード自動選択の状況

	オールモードのときに表示
	ハイウェイモードのときに表示
	シティモードのときに表示

- ⑨ L.S.Cの状況

	L.S.C.設定速度以下のときに表示
	L.S.C.設定速度以上のときに表示
	L.S.C.設定がオフのときに表示

- ⑩ 駐車禁止エリア

	駐車禁止エリアのときに表示
	待伏せエリアのときに表示

- ⑪ microSDカードアイコン
microSDカードが挿入されているときに表示します。

- ⑫ 走行速度
GPSによって走行速度を測定し表示します。
取締機手前約2キロ~約200m間で制限速度超の場合は
ピンク色に表示します。
※GPSが未測位、またはGセンサーのみで計測しているときは
「---km/h」と表示されます。

デジタルメーター

自転車速度をデジタルメーターで表示します。



- ① デジタルメーター
GPSによって走行速度を測定し表示します。
※GPSが未測位、またはGセンサーのみで計測しているときは
「---km/h」と表示されます。

アナログメーター

自転車速度をアナログメーターで表示します。



- ① アナログメーター
GPSによって走行速度を測定し表示します。
※GPSが未測位、またはGセンサーのみで計測しているときは
「0km/h」と表示されます。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな?と
思ったら

アフター
サービス

画面の見方(待受画面)

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

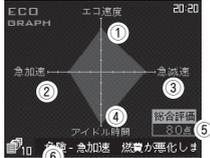
各機能の説明

故障かな？と思ったら

サブディスプレイ

エコグラフ

エコ速度、急減速、アイドル時間、急加速をGPSやGセンサーから測定して、グラフ表示します。運転のエコ度を見ることができます。



※取り付け状態によっては、正確にエコグラフが表示しない場合があります。 **参照** 本製品の取り付け方▶ P10

- エコ速度**
走行速度50km/h~100km/h間で加減速の少ない走行が連続1分間以上継続したとき点数が加算します。
- 急加速**
Gセンサーが急加速を感知したときに減算されます。
- 急減速**
Gセンサーが急減速を感知したときに減算されます。
- アイドル時間**
お車のアイドルリング時間(停車)を判定して点数が減算されます。
- 総合評価**
①~④の評価項目から判定して点数を表示します。
- エコアナウンス**
エコ運転の内容を表示します。

エコテキスト

急加速、急減速、アイドル時間、エコ速度、運転時間、走行距離、平均速度、CO₂排出量をGPSやGセンサーから測定し、エコ運転を文字で案内します。



※CO₂排出量の排出量は事前の設定が必要です。

参照 マイカー情報登録▶ P38

※取り付け状態によっては、正確にエコテキストが表示しない場合があります。

参照 本製品の取り付け方▶ P10

- 急加速**
Gセンサーが急加速を感知したときに減算されます。また急加速を感知した回数を表示します。
- 急減速**
Gセンサーが急減速を感知したときに減算されます。また急減速を感知した回数を表示します。
- アイドル時間**
お車のアイドルリング時間(停車)を判定して点数が減算されます。
- エコ速度**
走行速度50km/h~100km/h間で加減速の少ない走行が連続1分間以上継続したとき点数が加算します。
- 運転時間**
本製品の電源がONになってからの時間を表示します。
- 走行距離**
GPSによって電源がONになってからの走行距離を表示します。
- 平均速度**
走行距離と運転時間から算出した平均速度を表示します。
- CO₂排出量**
設定した自車の走行燃費をもとに走行状況からCO₂排出量を算出して表示します。
- 総合評価**
①~④の評価項目から判定して点数を表示します。
- エコアナウンス**
エコ運転の内容を表示します。

① 急加速

Gセンサーが急加速を感知したときに減算されます。また急加速を感知した回数を表示します。

② 急減速

Gセンサーが急減速を感知したときに減算されます。また急減速を感知した回数を表示します。

Gモニター

Gセンサーから測定した車両にかかるGをグラフと数値で表示します。



※常に一定方向のGを表示している場合、水平な場所で電源を入れなおしてください。

※取り付け状態によっては、正確にGモニターが表示しない場合があります。

参照 本製品の取り付け方▶ P10

① フロントG

車両の前方にかかるGを表示します。

② リアG

車両の後方にかかるGを表示します。

③ 左サイドG

車両の左側にかかるGを表示します。

④ 右サイドG

車両の右側にかかるGを表示します。

衛星情報

測定しているGPS衛星の位置や数を表示します。



① GPS衛星番号

現在、測定しているGPS衛星の番号を表示します。最大12のGPSを受信します。

② GPS衛星の位置

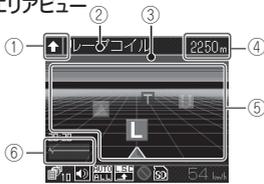
現在、測定しているGPS衛星の位置を表示します。



画面の見方(警告案内)

取締機などの警告や案内時の動き

モーションエリアビュー



※モーションエリアビューは、駐車禁止(重点・最重要)エリア、制限速度切り替えポイント、県境アナウンス、凍結注意、盗難多発エリアでは表示されません。
 ※モーションエリアビューの表示/非表示を設定することができます。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P26-P27

参照 モーションエリアビューのオン/オフ設定▶ P28

① 取締機のある方向

GPSから自車位置を計測し、取締機などが設置されている方向を表示します。

② 取締機などの名称

①で警告している取締機などの名前を表示します。

③ 道路の種類

①で警告している取締機などが設置されている道路の種類を表示しています。

青色	一般道
緑色	高速道

④ 取締機までの距離

GPSから自車位置を計測し、取締機などが設置されている距離を表示しています。

⑤ 取締機などの位置

H	新Hシステム	赤色
L	ループコイル	
LH	LHシステム	
NH	NHシステム	
O	レーダー式オービス	
SG	信号無視監視機	
▲	その他のポイント	緑色
T	取締ポイント	青色
U	ユーザーポイント	黄色

⑥ 無線またはレーダー波の受信状況

黄色	無線
紫色	レーダー波

GPS警告

取締機手前約2キロ～約200m



取締機手前約200m～約0m



⑦ 制限速度

取締機などの制限速度を表示します。

⑧ 取締機の位置

取締機などが設置されている位置を表示しています。

⑨ 背景での案内

取締機などが設置されている道路の種類と制限速度超の案内をおこないます。

青色	一般道
緑色	高速道
赤色	制限速度オーバー

⑩ ズームマップ表示

取締機などに近づくとき地図が拡大表示します。

⑪ 自車位置

GPSまたはGセンサーで計測した自車位置を表示しています。

⑫ 通過速度の案内

白色	通過速度が制限速度内の時
ピンク色	通過速度が制限速度超の時

⑬ 取締機のイラスト

イラストは取締機の種類と設置されたカメラ位置(道路の左/中央/右)によって変化します。

⑭ 通過速度

制限速度超の場合はピンク色で表示します。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな?と
思ったら

アフター
サービス

各種 GPS 警告案内例

速度取締機 (ループコイル、新システム、レーダー式オービス、LHシステム、NHシステム)、信号無視監視機の警告動作

4ステップGPS警告 (速度取締機の約2キロ手前から最大4回) でお知らせします。

例: 首都高速、ループコイルの場合



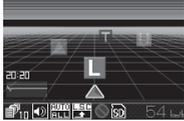
進行方向

GPS衛星

設置型
速度取締機

ステップ1 (約2キロ手前) ステップ2 (約1キロ手前) ステップ3 (約500m手前) ステップ4 (約200m手前)

↑ ループコイル 2250m モーションエリアビューが表示され、取締機のおよその位置を案内します。



※距離のポイスアシストは、走行状況によって2キロ先/2キロ以内、1キロ先/1キロ以内、500m先/500m以内と変化します。

※一般道は、約1キロ手前からの3ステップGPS警告になります。

※一般道のトンネル内取締機は約1キロ手前からの2ステップGPS警告になります。

↑ ループコイル 1841m スムマップが表示されます。→ 4ステップGPS警告開始。



案内対象 高速道 2キロ先 首都高速 ループコイル に注意してください。

距離 高速道路名称 速度取締機

案内対象 高速道 トンネル 2キロ先 首都高速 トンネル内 ループコイル に注意してください。

距離 高速道路名称 トンネル案内 速度取締機

↑ ループコイル 825m 案内対象 高速道 1キロ先 首都高速 ループコイル に注意。制限速度 80キロ以下です。



案内対象 一般道 制限速度を超過している場合 (例: 制限速度80キロ)

制限速度 80キロ以下 です。危険です。スピード落として。

制限速度

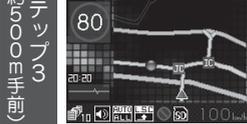
案内対象 高速道 トンネル この先 首都高速 トンネル内 ループコイル に注意。制限速度 80キロ以下 です。

高速道路名称 トンネル案内 速度取締機 制限速度

取締機カウントダウンを設定している場合

取締機までの距離を100m刻みで案内します。 例: 取締機まであと900mです。

↓ ループコイル 460m 案内対象 高速道 500m先 首都高速 ループコイル に注意してください。



案内対象 一般道 距離 高速道路名称 速度取締機

案内対象 高速道 トンネル まもなく 首都高速 トンネル内 ループコイル に注意してください。

高速道路名称 トンネル案内 速度取締機

↑ トンネル内 LHシステム

80 (通過速度)

案内対象 一般道

※トンネル内ではステップ3でズームマップ表示はございません。

※トンネル内では取締機カウントダウンおよびカメラ位置警告はございません。

取締機カウントダウンを設定している場合

取締機までの距離を100m刻みで案内します。 例: 取締機まであと300mです。

↑ ループコイル 通過速度 案内対象 高速道 カメラは 右側 です。 通過速度は 80キロ以下 です。



案内対象 一般道 カメラ位置 通過速度



- ・通過速度警告は4ステップGPS警告中の約200m手前で、警告を開始した時点で計測した速度をお知らせします。GPSで計測した速度とお車のスピードメーターでは計測方法が違いため、同時点の計測であっても異なる場合があります。
- ・本製品で表示するズームマップは警告中のポイントに対するもので、実際の走行中の道路と異なる場合があります。
- ・Gセンサーのみで動作している場合、走行速度は表示されません。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

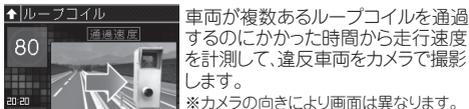
各機能の説明

故障かな?と
思ったら

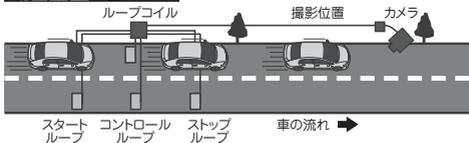
アフター
サービス

各種 GPS 警告の種類と内容

ループコイル



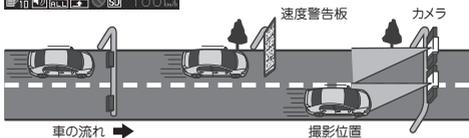
車両が複数あるループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測して、違反車両をカメラで撮影します。
※カメラの向きにより画面は異なります。



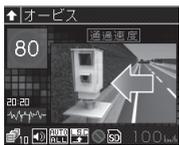
新Hシステム



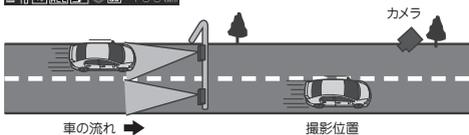
レーダー波と異なった種類の電波を使用します。事前に「速度超過」などが速度警告板に表示され、それを無視した違反車両をデジタルカメラで撮影します。



オービス



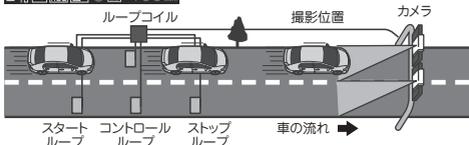
レーダー波(マイクロ波)を車両に当てて走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。
※カメラの向きにより画面は異なります。



LHシステム



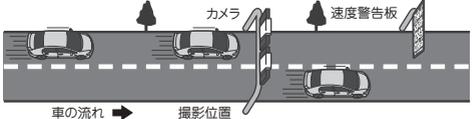
車両が複数あるループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測して、違反車両をデジタルカメラで撮影します。



NHシステム



通行車両をデジタルカメラで撮影し、その写真画像のブレなどから走行速度を算出することで速度違反車両を特定します。現在このNHシステムはNシステムとは異なった目的での車両識別用監視カメラとして稼働していますが、将来的に速度取締りをおこなう可能性があります。

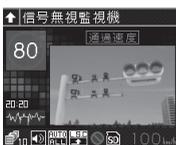


Nシステム



盗難車両の発見・自動車を使用した重要事件における犯人検挙のために利用する自動ナンバー読み取り装置です。

信号無視監視機



信号無視の取締まりを自動でおこないます。



トンネル内速度取締機



トンネル内に設置されている速度取締機を追跡警告します。



トンネル出口速度取締機



トンネル出口付近に設置されている速度取締機に対してトンネル内から追跡して警告します。



※画面は取締機の種類によって異なります。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな?と
思ったら

アフター
サービス

各種 GPS 警告の種類と内容

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな？と
思ったら

アフター
サービス

制限速度切替りポイント



制限速度アップ
制限速度が上がる时表示します。

制限速度ダウン
制限速度が下がる时表示します。

制限速度が切り替わる付近でお知らせします。また、制限速度よりも走行速度が速い場合は「スピードに注意してください。」とボイスアシストします。

※標準モードに設定されている場合は、制限速度が下がるポイントでのみお知らせします。

警察署



緊急トラブルなどにも安心と安全運転をサポートするため、全国各地の警察署を登録しています。

※レーダー感度が「オート」に設定されている場合、取締りポイントへの警告開始から約120秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P26~P27

交通警察隊



※レーダー感度が「オート」に設定されている場合、取締りポイントへの警告開始から約120秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P26~P27

交通検問所



一般道では道路脇に設置されていますが、高速道では料金所脇の高速隊詰め所併設される場合や、サービスエリアに設置されている場合もあります。道路から引き込み路があり、検問所が常設されています。

取締りは常時ではありませんが速度違反や飲酒検問、過積載などの取締りをおこなっています。その他にも交通規制時にも使用されています。

※レーダー感度が「オート」に設定されている場合、取締りポイントへの警告開始から約120秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P26~P27

過積載監視システム



路面に設置された重量測定用の踏み板と道路上方の監視カメラによって、トレーラーなどの大型車の重量オーバーを監視します。

事故多発エリア



警察庁、国土交通省の統計データにもとづき、全国各地の事故発生率が高いエリアを事故多発エリアとして登録しています。

駐車禁止(重点・最重要)エリア



本製品に登録されている駐車禁止エリアは、公表されている取締活動ガイドライン、および当社独自調査により登録したものです。したがって、駐車禁止の標識やその他標識の設置場所、駐車禁止の指定場所であってもお知らせしない場合があります。駐車禁止エリア内ではディスプレイに  マークを表示します。

参照 画面の見方▶ P15

待伏せエリア



白バイや覆面パトカーなどが交通違反車両を待ち伏せしている可能性の高いエリアを、当社独自調査により登録したものです。待伏せエリア内ではディスプレイに  マークを表示します。

参照 画面の見方▶ P15

取締りポイント



全国各地(高速道、一般道)での追尾式取締り、または移動式取締りや検問がおこなわれていた目撃情報をもとに取締りがおこなわれている可能性の高いエリアを取締りポイントとして登録しています。取締りポイントの約1キロ手前でお知らせし、走行速度が一定の速度より速い場合には約500m手前で再度注意を促します。※レーダー感度が「オート」に設定されている場合、取締りポイントへの警告開始から約120秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P26~P27

盗難多発エリア



公表されている全国の盗難多発ポイントを登録しています。発生が多い時間帯で低速走行時にお知らせします。

県境アナウンス



高速道路の走行時に県境をお知らせします。

各種 GPS 警告の種類と内容

道の駅

↑道の駅 500m 全国の一般道に併設されている道の駅を登録しています。



ハイウェイオアシス

↑ハイウェイオアシス 500m 全国の高速道路に併設されているハイウェイオアシスを登録しています。



サービスエリア

↑サービスエリア 500m 全国の高速道路に併設されているサービスエリアを登録しています。

ガソリンスタンドが併設されている場合、ガソリンスタンド会社と営業時間をお知らせします。



パーキングエリア

↑パーキングエリア 500m 全国の高速道路に併設されているパーキングエリアを登録しています。

ガソリンスタンドが併設されている場合、ガソリンスタンド会社と営業時間をお知らせします。



スマートインターチェンジ

↑スマートインター 500m 高速道路にある、一部のサービスエリア、パーキングエリアに併設されているETC専用の出入り口です。

ガソリンスタンドが併設されている場合、ガソリンスタンド会社と営業時間をお知らせします。



凍結注意アナウンス

凍結注意 高速道路のトンネルや橋付近の凍結の注意が必要なポイントを登録しています。12月中旬～2月の冬季のみお知らせします。



急カーブ

↑急カーブ 500m 急カーブがある場所をお知らせします。

※カーブの向き種類により画面が変わります。



トンネル入口案内

トンネル入口案内 高速道路の全長1キロ以上のトンネルで入口付近の案内とヘッドライトの点灯を案内します。

※ヘッドライトの点灯案内は夜間はおこないません。

※トンネル入口案内は、有料道路、都市高速（首都高速、阪神高速など）では案内しません。

参照 トンネル案内▶ P39



トンネル出口案内

トンネル出口案内 高速道路の全長1キロ以上のトンネルで出口付近の案内とヘッドライトの消し忘れを案内します。

※ヘッドライトの消灯案内は夜間はおこないません。

※トンネル出口案内は、有料道路、都市高速（首都高速、阪神高速など）では案内しません。

参照 トンネル案内▶ P39



トンネル内急加減速警告

高速道路の全長1キロ以上のトンネル内走行時に急加減速、急減速を感じた場合に警告します。

※待受画面の状態で、音声にてお知らせします。

※トンネル内急加減速警告は、有料道路、都市高速（首都高速、阪神高速など）では警告しません。

17:34 SUN 2/11
建国記念の日 大安



急加減速を感じた場合

急加減速しています。車間距離に注意してください。

急減速を感じた場合

急減速しています。後続車両に注意してください。

参照 トンネル案内▶ P39

ユーザーメモリーセレクト

↑取締機 500m ユーザーメモリーセレクトで記録したポイントをユーザーメモリーとして案内します。1キロ先から3ステップで案内します。

※取締機として登録した場合、制限速度の案内はおこないません。

参照 ユーザーメモリーセレクト▶ P32



GPSスポット追加機能

動物園 追加GPSスポット GPSスポット変換ツールで追加されたGPSスポットの約1キロ、500m手前で案内します。

※GPSスポット変換ツールを使用するには、Windowsパソコンとインターネット環境が必要になります。

参照 GPSスポット追加機能▶ P40



自宅案内

自宅 自車が自宅の約200m圏内に入ると案内します。

※事前に自宅を記録する必要があります。

参照 自宅案内▶ P35



はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな？と
思ったら

アフター
サービス

各種無線警告の種類と内容

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

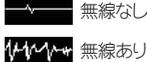
各機能の説明

故障かな？と
思ったら

アフター
サービス



無線受信の電波の強弱を黄色の線で表示します。



各種無線(350.1MHzを除く)を連続的に受信すると、自動的にディスプレイ表示のみの警告となります。

無線受信中、GPS案内になった場合、ツインウィンドウにて各種無線警告の案内をおこないます。



※警告音は出ません。
※ツインウィンドウは速度取締機の警告中、表示しません。

ツインウィンドウ

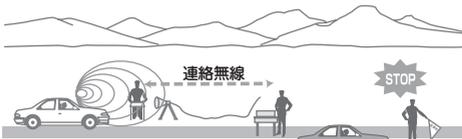
参照 レシーバーオートミュート機能 ▶ P37
参照 スキップ機能 ▶ P37

350.1MHz受信



速度取締り現場などで、測定係と停止係の間で使用される無線です。無線の会話を聞くことができます。

※350.1MHz無線の受信は、電波の状態などによって受信状態が変わります。デジタル通信の場合は音声は聞くことはできません。350.1MHz無線は常に取締りに使用されているわけではありません。本製品での受信は、無線が使用され電波が出ている場合に限りです。



警察デジタル無線



主に警察関係車両で本部との連絡用に使用されている無線です。

※警察デジタル無線は常に使用されているわけではありません。本製品での受信は無線が使用され、電波が出ている場合に限りです。

警察活動無線



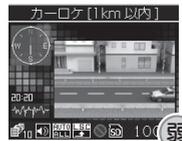
主に機動隊で連絡用として使用される無線です。

カーロケータ受信

警察関係車両などに搭載され、GPS信号により算出された自車位置情報をセンターなどに送信するシステムです。カーロケータを受信すると、受信電波の強弱に応じて緊迫状況かどうかを判断してお知らせします。



1回目の受信



※カーロケータの感度が「ロー」に設定されている場合は、弱い電波の受信はできません。

参照 BESTセレクト機能の設定一覧 ▶ P26~P27

ニアミスアラーム(連続受信)



連続して受信したときに、電波の強弱に応じて緊急状態であるかどうかをお知らせします。

※カーロケータシステムの受信については導入されていない地域、またはシステムが変更されている地域では受信することができません。
※警察関連車両に追尾されていても、カーロケータを受信しない場合があります。カーロケータシステムは全ての警察関連車両に搭載されているわけではなく、また搭載されていても常時電波を発しているわけではありません。一部地域ではシステムが異なる場合もあります。このような場合には警察関連車両の接近をお知らせすることができません。
※本製品のカーロケータ受信は407.725MHzのみ対応しております。これ以外の周波数やシステムの場合、警告をおこなうことができません。

署活系無線



警察署の管轄区域単位で使用される携帯無線で、警察署と警察官または警察官同士の通信手段として使用されている無線です。

各種無線警告の種類と内容

ヘリテレ無線



事件や事故、またはヘリコプターを使った取締りなどの際に、ヘリコプターと地上間で使用される無線です。無線の会話を聞くことができます。※一部地域や一部のヘリコプターでは、ヘリテレ無線が導入されていないなどの理由により受信できない場合があります。

レッカー無線



駐車違反や事故処理などで、主に東京都内、兵庫県内、愛知県内の一部地域でレッカー業者が使用する無線です。無線の会話を聞くことができます。

※レッカー無線は簡易業務用無線のため、その他種類の無線も受信します。あらかじめご了承ください。
※お車の走行速度が約50km/h以上の場合、レッカー無線は受信しません。

消防無線



各消防署と消防関係車両などとの連絡に使用される無線です。

消防ヘリテレ無線



山林火災、水災・地震などの災害や地上からの把握が困難な高層建物火災の発生時に、ヘリコプターと地上間で使用される無線です。※一部地域や一部のヘリコプターでは、ヘリテレ無線が導入されていないなどの理由により受信できない場合があります。

新救急無線



主に東京都内で使用される救急無線です。

取締特小無線



路上での取締り現場などで使用される無線です。

JH無線



旧日本道路公団(JH)のパーロール車両と本部の間で使用される無線です。渋滞や工事・事故情報などの連絡に使用されています。無線の会話を聞くことができます。※デジタル通信の場合、会話を聞くことはできません。

警察電話



警察関連の自動車電話などで使用されています。

警備無線



全国の各警備会社で使用される無線です。

バリケードアラーム



検問などがおこなわれている可能性が高いと判断した場合、専用のバリケードアラームでお知らせします。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな？と思ったら

アフターサービス

各種レーダー波警告の種類と内容

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな？と
思ったら

アフター
サービス



レーダー

レーダー波受信レベルを紫色の線で表示します。

レーダー波なし

レーダー波あり

レーダー波を使用する速度取締機などへの接近をお知らせします。
レーダー受信中、GPS案内になった場合、ツインウィンドウにてレーダー波警告の案内をおこないます。

待伏せエリア

※アラーム音は出ません。
※ツインウィンドウは速度取締機の警告中、表示しません。

ツインウィンドウ



参照 レーダー波受信感度オート切替え ▶ P35

レーダー警告

レーダー波を受信するとディスプレイとアラームでお知らせします。また、レーダー波の強さに応じてアラームが変化します。(自動距離測定回路内蔵)

参照 BESTセレクト機能の設定一覧 ▶ P26~P27

レーダー波が弱い → レーダー波が強い

♪ピッ・・・ピッ・・・ピッ・・・ピッ・・・ピッ・・・ピッ・・・ピッピッピッピッ



※レーダー警告がはじまってから約30秒後、警告音量が自動的に小さくなります。

ステルスアラーム

瞬時に強いレーダー波を受信すると、それをステルス波として識別し、ディスプレイとボイスアシストとアラームでお知らせします。

ステルスを受信しました。
♪ビロビロビロビロビロビロ...



※ステルスアラームがはじまってから約10秒後、警告音量が自動的に小さくなります。

注意 ステルス波受信について
ステルス波の受信によるステルスアラームは、その性質上距離の余裕をもってお知らせできません。くれぐれも速度の出しすぎにはご注意ください。

対向車線レーダー警告オートキャンセル機能

レーダー波を使用した速度取締機が対向車線に設置されている場合、走行速度が制限速度以下のときはレーダー警告のアラームを自動的にキャンセルします。

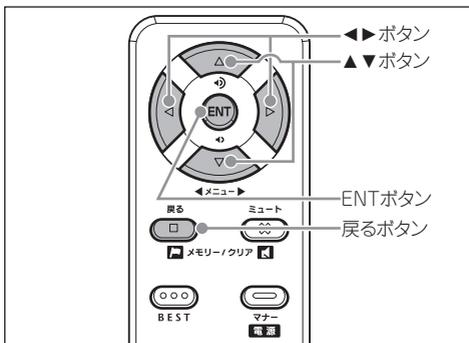
参照 L.S.C.機能 ▶ P35

対向車線キャンセル
レーダー警告が自動的にキャンセルされたことを表示します。



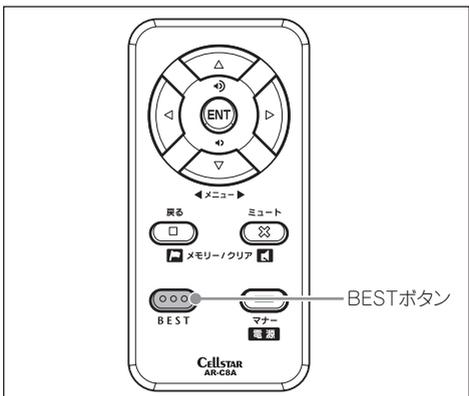
各種設定の操作方法

各種設定の操作方法



- 1 「▶ボタン」または「◀ボタン」を押して、設定メニューから変更する機能を選びます。
※「▶ボタン」または「◀ボタン」を長く押し続けると、選択する機能が順次切り替わります。
- 2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定内容を切り替えます。
- 3 「ENTボタン」を押して、設定を確定します。
- 4 引き続き他の機能の設定を変更する場合は、「▶ボタン」または「◀ボタン」を押して、機能を選びます。設定を終了して通常動作に戻る場合は、「戻るボタン」を押します。また何もボタンを押しなれば、約15秒後に自動的に通常動作に戻ります。

BESTセレクト機能とは



簡単なワンタッチ操作だけで、各機能の設定を個々におこなう必要がない「オールモード」「標準モード」と、自由に設定変更ができる「マニュアルモード1」「マニュアルモード2」の4つを切り替えることができます。

オールモード

全ての警告/案内がオンになります。

標準モード（工場出荷時の設定）

ベストセレクトされた機能がオンになっています。

マニュアルモード 1

初期設定が高速道向けに設定されています。

お好みに合わせて各種機能の設定を自由に変更することができます。

マニュアルモード 2

初期設定が一般道向けに設定されています。

お好みに合わせて各種機能の設定を自由に変更することができます。

BESTセレクト機能の切り替え

- 1 「BESTボタン」を押します。
現在の設定モードをお知らせします。



- 2 再度「BESTボタン」を押すと設定モードが切り替わります。押すたびに設定モードが切り替わります。

※「マニュアルモード1/2」から「標準モード」「オールモード」に切り替えても、マニュアルモードで個別に変更した設定内容は記憶されています。

- 3 数秒後、待受画面に戻ります。

設定チェック機能

- 1 「BESTボタン」を約1秒間押し続けます。「ベストセレクト○○」の後に、各機能の設定内容をボイスガイドとディスプレイでお知らせします。

※お知らせ中に、「BESTボタン」を押すと終了します。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな？と
思ったら

アフター
サービス



BEST セレクト機能と設定一覧

各モードの設定内容（マニュアルモードは初期設定の内容）

	オールモード	標準モード	マニュアルモード1	マニュアルモード2	設定項目の説明
取締機	オール	オール	ハイウェイ	シティ	オール : 高速道路/一般道に対して警告を設定します。 ハイウェイ : 高速道路に対して警告を設定します。 シティ : 一般道に対して警告を設定します。
Nシステム	オール	オール	ハイウェイ	シティ	オール : 高速道路/一般道に対して警告を設定します。 ハイウェイ : 高速道路に対して警告を設定します。 シティ : 一般道に対して警告を設定します。 解除 : 警告を設定しません。
取締ポイント					
待伏せエリア					
制限速度切り替わり	オール	標準	標準	標準	オール : 全てのポイントに対して警告を設定します。 標準 : 制限速度が下がるポイントのみ警告を設定します。 解除 : 警告を設定しません。
事故多発エリア	オール	解除	解除	解除	オール : 高速道路/一般道に対して警告を設定します。 ハイウェイ : 高速道路に対して警告を設定します。 シティ : 一般道に対して警告を設定します。 解除 : 警告を設定しません。
警察署					
交通検問所		オール	ハイウェイ	シティ	
過積載取締機					
急カーブ					
駐車禁止エリア	設定	解除	解除	解除	設定 : 警告や警告を設定します。 解除 : 警告や案内を設定しません。
道の駅	オール	解除	解除	解除	オール : 高速道路/一般道に対して警告を設定します。 ハイウェイ : 高速道路に対して警告を設定します。 シティ : 一般道に対して警告を設定します。 解除 : 警告を設定しません。
サービス/パーキングエリア	設定	解除	解除	解除	設定(高速道) : 警告や案内を設定します。 解除 : 警告や案内を設定しません。
県境アナウンス					
凍結注意					
盗難多発エリア	設定	解除	解除	解除	設定 : 警告や案内を設定します。 解除 : 警告や案内を設定しません。
レーダー感度	エクストラ	エクストラ	エクストラ	エクストラ	オート : 走行速度に合わせて受信感度が自動で変化します。 エクストラ : 受信感度を「高」に固定します。 ウルトラ : 受信感度を「中」に固定します。 スーパー : 受信感度を「低」に固定します。
L.S.C.	30キロ	30キロ	50キロ	30キロ	30キロ : 時速30km/h以下のときに警告をミュートします。 40キロ : 時速40km/h以下のときに警告をミュートします。 50キロ : 時速50km/h以下のときに警告をミュートします。 60キロ : 時速60km/h以下のときに警告をミュートします。 解除 : LSCを設定しません。
カーロケ	ハイ	ハイ	ハイ	ハイ	感度ハイ : 受信感度を1キロ範囲に広がります。 感度ロー : 受信感度を500mに範囲を狭めます。 解除 : カーロケを設定しません。
350.1MHz	設定	設定	設定	設定	設定 : 警告を設定します。 解除 : 警告を設定しません。
デジタル無線					
警察活動無線					
署活系無線					
ヘリテレ無線					
レッカー無線					
消防無線					
消防ヘリテレ					
救急無線					
取締特小					
JH無線					
警察電話					
警備無線					

次のページに続く

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな？と
思ったら

アフター
サービス

BEST セレクト機能と設定一覧

	オールモード	標準モード	マニュアルモード1	マニュアルモード2	設定項目の説明
ロード自動選択	オフ	オフ	オフ	オフ	オン : 警告を設定します。 オフ : 警告を設定しません。
速度取締機カウtdown	オフ	オフ	オフ	オフ	オン : 警告を設定します。 オフ : 警告を設定しません。
平均速度超過警告	オフ	オフ	オフ	オフ	オン : 警告を設定します。 オフ : 警告を設定しません。
画面 明るさ 昼間	3	3	3	3	1 : ディスプレイの輝度を最大にします。 2 : 3 : ディスプレイの輝度を標準にします。 4 : 5 : ディスプレイの輝度を最小にします。
画面 明るさ 夜間	4	4	4	4	
エリアビュー	オン	オン	オン	オン	オン : モーションエリアビューの表示を設定します。 オフ : モーションエリアビューの表示を設定しません。
警告表示	グラフィック警告	グラフィック警告	グラフィック警告	グラフィック警告	グラフィック警告 : 警告や案内の表示をグラフィックでおこないます。 文字警告 : 警告や案内の表示を文字でおこないます。
待受画面	オール	オール	オール	オール	オール : 全ての情報を表示します。 エコグラフ : エコ運転をグラフで表示します。 エコテキスト : エコ運転を文字で表示します。 Gモニター : 車両にかかるGをグラフで表示します。 デジタルメーター : 自車速度をデジタルメーターで表示します。 アナログメーター : 自車速度をアナログメーターで表示します。 衛星情報 : 測位しているGPS衛星の位置を表示します。 オフ : 待受画面を表示しません。
待受背景	1	1	1	1	1 : パターン1の背景にします。 2 : パターン2の背景にします。 3 : パターン3の背景にします。 スライドショー : microSDカードの画像をスライドショーで表示します。
画面表示	オン	オン	オン	オン	オン : 画面を表示します。 オフ : 画面を表示しません。
スクリーンセーバー	オフ	オフ	オフ	オフ	標準 : スクリーンセーバーを設定します。 スライドショー : microSDカードの画像をスライドショーで表示します。 オフ : スクリーンセーバーを設定しません。
飲酒運転禁止	オン	オン	オン	オン	オン : 案内を設定します。 オフ : 案内を設定しません。
トンネル案内	オン	オン	オン	オン	
安全運転アナウンス	オン	オン	オン	オン	
日差し注意	オフ	オフ	オフ	オフ	オン : 日差し注意を設定します。 オフ : 日差し注意を設定しません。
速度アラーム	解除	解除	解除	解除	80キロ : 自車速度が80km/hを超えた場合、警告します。 90キロ : 自車速度が90km/hを超えた場合、警告します。 100キロ : 自車速度が100km/hを超えた場合、警告します。 110キロ : 自車速度が110km/hを超えた場合、警告します。 120キロ : 自車速度が120km/hを超えた場合、警告します。 130キロ : 自車速度が130km/hを超えた場合、警告します。 解除 : 警告の設定をおこないません。
速度アラーム音	1	1	1	1	1 : パターン1でアラームします。 2 : パターン2でアラームします。 3 : パターン3でアラームします。 ボイス : ボイスでアラームします。
時報アナウンス	ボイス	ボイス	ボイス	ボイス	ボイス : ボイスでアナウンスします。 チャイム1 : チャイム1でアナウンスします。 チャイム2 : チャイム2でアナウンスします。 オフ : アナウンスをオフにします。
マイカー情報 (エンジン種別、走行燃費)	ガソリン,08.0	ガソリン,08.0	ガソリン,08.0	ガソリン,08.0	ガソリン : 自車情報をガソリンにし、走行燃費を設定します。 ディーゼル : 自車情報をディーゼルにし、走行燃費を設定します。
走行ログ	オフ	オフ	オフ	オフ	オン : 走行ログを記録します。 オフ : 走行ログを記録しません。

※ [] の項目は変更できません。

※本製品の電源がオフになっても、各種設定は保存されています。また、マニュアルモードの設定内容も記憶されています。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな？と
思ったら

アフター
サービス



設定が「標準モード」「オールモード」の場合、設定は固定されています。各機能の設定を個別に変更することはできません。お好みの設定に変更する場合は、あらかじめ「マニュアルモード1」または「マニュアルモード2」に切り替えてください。

画面の設定

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな？と
思ったら

アフター
サービス

明るさの設定

ディスプレイの明るさを昼/夜それぞれ個別に、5段階に調節できます。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P26~P27

- 1 「◀ ボタン」を押して「画面 明るさ 昼間」または「画面 明るさ 夜間」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



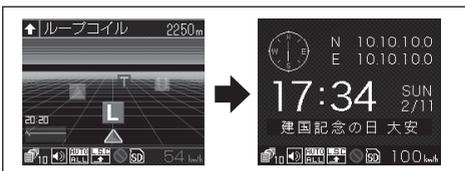
- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

モーションエリアビューのオン/オフ設定

取締機の手前 約3キロ ~ 約2キロで表示されるモーションエリアビューの表示/非表示を設定することができます。モーションエリアビューを非表示(オフ)にした場合は、代わりに待受画面を表示します。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P26~P27



- 1 「◀ ボタン」を押して「エリアビュー」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

警告表示方法の設定

各種警告をお知らせする際、ディスプレイにはアニメーションが表示されますが、これを全て文字表示に切り替えることができます。警告表示よりも日付や時間などの待受画面を優先したいときに便利です。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶ P26~P27

グラフィック警告



この領域に警告内容がアニメーションで表示されます。

文字警告



この領域に警告内容が文字で表示されます。

※文字警告の場合、モーションエリアビュー表示をおこないません。

- 1 「◀ ボタン」を押して「警告表示」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

画面のオン/オフ設定

画面の表示をオフに設定すると、ハーフミラーにより全面ミラーとして使用することができます。本製品をミラーとして使用したい場合に便利です。

- 1 「◀ ボタン」を押して「画面」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

※画面を「オフ」に設定してもオープニング画面、音量調整画面、各種設定画面は表示されます。

画面の設定

待受画面の選択

待受け状態のときに表示される画面を選ぶことができます。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶P26-P27

- 1 「◀ボタン」を押して「待受画面」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



- 2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。



待受背景の選択

待受画面「オール」の背景の画像を、お好みの画像に変更することができます。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶P26-P27

- 1 「◀ボタン」を押して「待受背景」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



- 2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。



スクリーンセーバーの設定

待受け時間が約1分間経過すると、自動的に画面の焼きつきなどを軽減するスクリーンセーバー機能を実行します。

※工場出荷時は設定がオフになっています。

参照 BESTセレクト機能と設定一覧▶P26-P27

- 1 「◀ボタン」を押して「スクリーンセーバー」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



- 2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。



はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな？と
思ったら

アフター
サービス

音響の設定

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

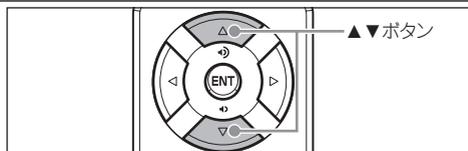
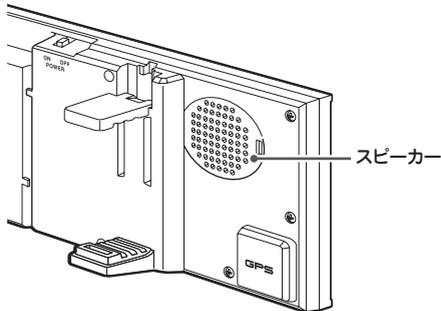
各機能の説明

故障かな？と
思ったら

アフター
サービス

音量の調節

本製品のスピーカーが出力される音量を調整します。



1 「▲ボタン」または「▼ボタン」を押して音量を調整します。



2 数秒後、待受画面に戻ります。

警告音のミュート

レーダー警告中や各種無線受信動作中に、警告音をミュート(消音)します。

※ディスプレイによる表示はおこないます。GPS警告はミュートできません。



1 警告動作中に「ミュートボタン」を押します。ミュート中はディスプレイにミュートマークが表示されます。



各種無線を受信中の場合

- ・ミュート中に約120秒間受信がなければ、ミュート機能は自動的に解除されます。
- ・ミュート中に再度受信した場合、約120秒間ミュート機能が延長されます。

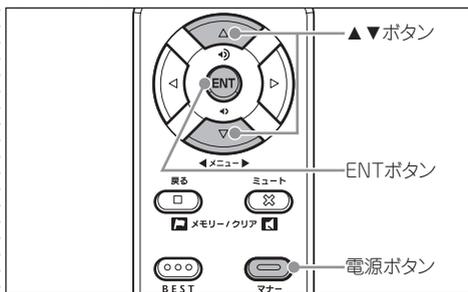
レーダー警告中の場合

- ・ミュート中、レーダーの受信が無くなった時点で、ミュート機能は自動的に解除されます。

※ミュートの動作中に「ミュートボタン」を再度押すと、ミュートが解除されます。

マナーモード

レーダー受信時/GPS 警告時/無線受信時にボイスアシスト(音声)と警告音を出さず、メロディとディスプレイ表示だけで注意を促します。

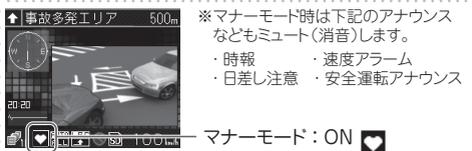


1 「電源ボタン」を押します。



2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。



※マナーモード時は下記のアナウンスなどもミュート(消音)します。

- ・時報
- ・速度アラーム
- ・日差し注意
- ・安全運転アナウンス

※設定変更をおこなわない場合、数秒後、待受画面に戻ります。

GPS を利用した機能の説明

GPS測位について

GPSを利用した機能を使用するために、GPSの測位確定が必要となります。本製品の電源が入ると、自動的にGPS測位が始まります。GPS測位が確定すると「トビボン、GPSを測位しました。」とお知らせします。

また、GPSの信号が途切れた場合には、内蔵のGセンサーにより計測を一定区間補完して警告などをおこないます。

GPS測位状態の確認

ディスプレイで測位状態が確認できます。



	GPSとGセンサーで測位のときに表示
	GPSが未測位のときに表示
	Gセンサーで計測のときに表示

GPSアイコンの右下の数値は測位しているGPSの数です。

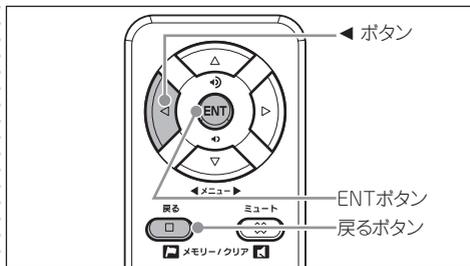


お買い求め頂いて、初めてお使いになる場合

- GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合があります(約15分程度)これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。
- GPS測位に20分以上かかる場合は電源を入れ直してください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPS測位しにくくなりますので、ご注意ください。
- GPS機能を使用するには、GPS測位中、またはGセンサーの計測中に限られます。
- 車内でTVの56chにチャンネルを設定していると、本製品のGPS測位ができなくなる場合があります。これは製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

GPS警告ポイント消去機能

本製品に登録されているGPS警告ポイントを消去することができます。この機能を使用することで、取締機の撤去などに対応することができます。



GPS警告ポイントの消去方法

- 消去したいポイントのGPS警告動作中に「トビボン」と鳴るまで「戻るボタン」を押し続けます。その後、操作結果をボイスガイドでお知らせします。

GPS警告ポイント消去機能のリセット

GPS警告ポイント消去機能で消去したポイントを全てリセットします。

※ 個別での復帰はできません。一括での復帰となります。

- 「◀ ボタン」を押して「初期化」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



- 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、「プリセットポイント」を選びます。「プリセットポイント、プリセットポイント…」と繰り返しアナウンスされます。
- 「プリセットポイント消去しました」とアナウンスされるまで「ENT ボタン」を押し続けます。これでGPS警告ポイントがリセットします。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな?と
思ったら

アフター
サービス

GPS を利用した機能の説明

ユーザーメモリーセレクト

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

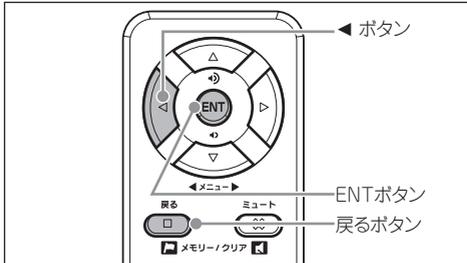
各機能の説明

故障かな？と
思ったら

アフター
サービス

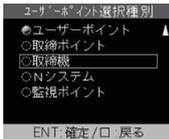
リモコンを使って、現在地のポイントを記録すると、ユーザーメモリーとして案内します。記録したポイントは1キロ先から3ステップで案内します。

※記録するには約1キロ以上走行している必要があります。
※100箇所を越えると、100箇所目のポイントに上書きします。



ユーザーメモリーの記録方法

1 記録したいポイントで「トピンボン」と鳴るまで「戻るボタン」を押し続けます。 ※記録に成功した場合、「ユーザーポイント選択種別」画面が表示します。



- ・ユーザーポイント
ユーザーポイントとして記録します。
- ・取締りポイント
取締りポイントとして記録します。
- ・取締機
取締機として記録します。
- ・Nシステム
Nシステムとして記録します。
- ・監視ポイント
監視ポイントとして記録します。

※ポイントの種類を15秒間確定しない場合、ユーザーポイントとして記録されず。

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、ポイントの種類を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して記録を確定します。

ユーザーポイントとして記録した場合

結果	ボイスガイド
ポイント記録成功	ユーザーポイント記録しました。
ポイント記録失敗 (自転車位置が計測できない)	トピンボン、GPSを測位 できません。
ポイント記録失敗 (走行データなし)	ユーザーポイント記録できません。

記録したポイントは、1キロ先から3ステップで案内します。

↑ 取締機 500m ※制限速度の設定はできません。



ユーザーメモリーの個別の消去方法

1 設定したユーザーメモリーのGPS警告動作中に操作結果をボイスガイドでお知らせするまで「戻るボタン」を押し続けます。

ユーザーメモリーの全消去

1 「◀ ボタン」を押して「初期化」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して「ユーザーメモリー」を選択します。「ユーザーメモリー、ユーザーメモリー…」と繰り返しアナウンスされます。

3 「ユーザーメモリー消去しました」とアナウンスされるまで「ENT ボタン」を押し続けます。これでユーザーメモリーが全て消去します。

注意 ユーザーメモリーは一度消去するとデータを復元することはできません。消去操作は十分に注意しておこなってください。

GPS を利用した機能の説明

レーダーキャンセルメモリー機能

レーダー警告音が必要ないと思われるエリアをGPSを使って半径約200m圏内のレーダー警告音をキャンセル(消去)することができます。 ※最大で100箇所のポイントをキャンセルできます。



レーダーキャンセルエリアの記録

- 1 消去したいエリアでのレーダー警告中に「♪ピンポン」と鳴るまで「ミュートボタン」を押し続けます。
※GPS測位の状態によっては、結果が出るまで最大約20秒かかります。

結果	ボイスガイド
エリア記録成功	♪ピンポン、レーダーキャンセルエリア記録しました。
エリア記録失敗 (自車位置が計測できない)	♪ピンポン、GPSを測位できません。
エリア記録失敗 (その他の理由)	♪ピンポン、レーダーキャンセルエリア記録できません。

レーダーキャンセルエリアの確認



レーダーキャンセルエリアの個別消去

- 1 消去したいエリアでのレーダー警告中に「♪ピンポン」と鳴るまで「ミュートボタン」を押し続けます。
※GPS測位の状態によっては、結果が出るまで最大約20秒かかります。

レーダーキャンセルエリアの全消去

- 1 「◀ボタン」を押して「初期化」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



- 2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、「レーダーキャンセルエリア」を選びます。
「レーダーキャンセルエリア、レーダーキャンセルエリア…」と繰り返しアナウンスされます。
- 3 「レーダーキャンセルエリア消去しました」とアナウンスされるまで「ENTボタン」を押し続けます。
これでレーダーキャンセルエリアが全消去します。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな？と
思ったら

アフター
サービス

GPS を利用した機能の説明

ロード自動選択

現在走行している道路の種類(高速道/一般道)を弊社独自のデータから判別し、その道路に適したGPS警告をお知らせします。

※現在の走行状態が一般道が高速道を走行中かを自動判断し、警告対象道路を自動で設定するため、走行状態によっては実際の状態と異なる設定となる場合があります。確実に警告を出したい場合には、ロード自動選択を「オフ」に設定してご使用ください。

ロード自動選択機能の設定

オン AUTO AUTO+ AUTO ALL

走行している道路種に応じて表示が変わります。

オフ アイコンは表示されません。



- 1 「◀ボタン」を押して「ロード自動選択」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



- 2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

速度取締機カウントダウン

4ステップGPS警告時に、取締機までの距離約1キロ手前から約200m手前の間、100m刻みで案内します。(例:取締機まであと400mです。)



- 1 「◀ボタン」を押して「速度取締機カウントダウン」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



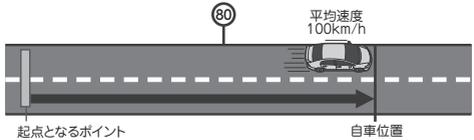
- 2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

平均速度超過警告

高速道や有料道路に弊社が独自に設定した計測ポイント間での平均速度を計測し走行している道路の法定速度から超過している場合、音声で警告します。

また、制限速度切替りポイントでは、そこまでの平均速度をお知らせし、再度そこからの平均速度の計測をおこないます。



- ・高速道でのみ測定します。高速道を降り、一般道を走行中、時速40キロを下回らない場合、一般道で案内することがあります。
- ・平均速度超過機能は、弊社が独自に設定した計測ポイントを時速40キロ以上で通過した場合に平均速度の計測を開始します。
- ・時速40キロを下回った場合、平均速度超過機能を終了し、そこまでの平均速度をお知らせします。

- 1 「◀ボタン」を押して「平均速度超過警告」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



- 2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな?と
思ったら

アフター
サービス

GPS を利用した機能の説明

レーダー波受信感度オート切替え

レーダー波の受信感度を、走行速度に合わせて、自動的に切り替えます。

お車の走行状態	受信感度
時速 約50 キロ以上	エクストラ(高感度)
時速 約50 ~ 30 キロ	ウルトラ(中感度)
時速 約30 キロ未満	スーパー(低感度)
走行速度が計測できない	エクストラ固定

(レーダー波受信感度の設定を変更するには、あらかじめマニュアルモード1/2に変更する必要があります。)

1 「◀ボタン」を押して「レーダー感度」を選びます。



- ・**オート**
走行速度に合わせて受信感度が自動的に変化します。
- ・**エクストラ**
受信感度を「高」に固定します。
- ・**ウルトラ**
受信感度を「中」に固定します。
- ・**スーパー**
受信感度を「低」に固定します。

2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

L.S.C.機能

設定した速度以下の走行や停止時に、レーダー警告音を自動的にキャンセルします。



	L.S.C.設定速度以下のときに表示
	L.S.C.設定速度以上のときに表示
	L.S.C.設定が解除のときに表示

(レーダー波受信感度の設定を変更するには、あらかじめマニュアルモード1/2に変更する必要があります。)

1 「◀ボタン」を押して「L.S.C.」を選びます。



- ・**30キロ~60キロ**
設定した速度以下のときに警告をミュートします。
- ・**解除**
L.S.C.設定をオフにします。

2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定を切り替えます。

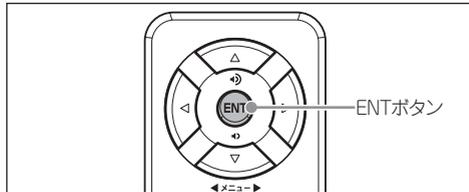
3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

エリアタイムディママー機能

GPSの時刻情報を利用して、各地域での昼/夜/薄明時(朝または夕方)の時刻に応じてディスプレイの明るさを自動的に調整します。

1キロ圏内サーチ機能

現在地から半径約1キロ圏内に速度取締機またはユーザーメモリーがあるかどうかを検索します。



1 「▶ピッ、サーチします。」とアナウンスされるまで「ENTボタン」を押し続けます。

2 ディスプレイとボイスガイドで結果をお知らせします。

結果	ボイスガイド例
設置あり	▶ピッポン、1キロ以内東名高速可変式ループコイルに注意してください。
設置なし	▶ピッポン、ポイント ありません。
自車位置を計測できない	▶ピッポン、GPS を測位できません。

※GPS測位の状態によっては、結果が出るまで最大約20秒かかります。

通過速度履歴確認機能

速度取締機を通過したときの通過速度をボイスアシストとディスプレイで確認することができます。
 ※確認できる通過速度は、最後に計測した通過速度1件のみとなります。
 ※本製品の電源が切れると通過速度履歴データは消去されます。
 ※トンネル内の速度取締機は、通過速度履歴の確認はできません。

1 「ENTボタン」を押します。(短押し) ディスプレイとボイスで前回の通過速度をお知らせします。

自宅案内

自宅を記録すると、自車が自宅の約200m圏内で案内します。

1 「◀ボタン」を押して「自宅」を選びます。 ※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、記録または消去を選びます。

3 「ENTボタン」を押して記録または消去します。

※消去を選択すると、自宅のポイントが消去されます。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

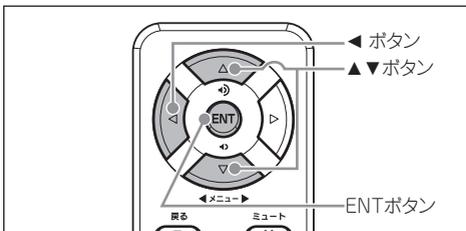
故障かな?と

アフターサービス

GPS を利用した機能の説明

速度アラーム機能

走行速度があらかじめ設定しておいた上限速度を超えたときにボイスまたはアラームで警告します。



上限速度の設定方法

上限速度として80km/h、90km/h、100km/h、110km/h、120km/h、130km/h のいずれかを選択できます。
速度アラーム機能をオフにするには「解除」を選択します。
※ マナーモード中はお知らせしません。

- 1 「◀ ボタン」を押して「速度アラーム」を選びます。
※ マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定したい速度または解除を選びます。

- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

速度アラーム音の設定方法

警告時に流れる音声はボイスガイドと3種類のアラーム音から選ぶことができます。

- 1 「◀ ボタン」を押して「速度アラーム音」を選びます。
※ マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定したいアラーム音またはボイスを選びます。

- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな？と
思ったら

アフター
サービス

その他の機能の説明

オートトーンダウン機能

レーダー警告が始まってから約30秒後、またはステルスアラームが始まってから約10秒後に、警告音量が自動的に小さくなります。

※設定は不要です。

レシーバーオートミュート機能

同じ無線を連続して受信すると、自動的に警告音やボイスアシストをミュート(消音)します。

※350.1MHzはミュートされません。

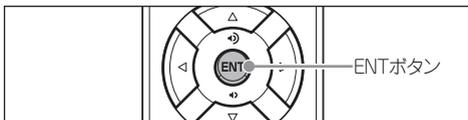
※ディスプレイによる表示はおこないません。

※設定は不要です。

スキップ機能

ワンスキップの設定

受信中の無線を一回だけスキップ(強制終了)することができます。



- 1 無線を受信中に「ENT ボタン」を押します。「ルビット」と鳴り、警告表示や受信音を強制終了します。

スキップメモリの設定

各種無線のうち、特定のチャンネルを最大253チャンネル記録し、スキップ(受信拒否)し続けることができます。

※カーロケと350.1MHzはスキップできません。

- 1 スキップしたい無線の受信警告動作中に「BEST ボタン」を約1秒間押し続けます。操作結果をボイスガイドでお知らせします。

※電源をオフにしても、記録されたスキップメモリは保持されます。

スキップメモリの全消去

- 1 「◀ ボタン」を押して「初期化」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、「スキップメモリ」を選びます。「スキップメモリ、スキップメモリ…」と繰り返しアナウンスされます。

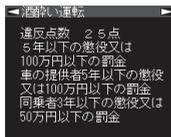
- 3 「スキップメモリ消去しました」とアナウンスされるまで「ENT ボタン」を押し続けます。これでスキップメモリが全て消去されます。

反則金データベース表示機能

交通違反の際に課せられる反則金や反則点数をディスプレイに表示します。違反内容によっていくら反則金が課せられるか、または何点反則点数が加算されるかを調べるのに便利です。



- 1 「電源ボタン」を約1秒間押し続けます。ディスプレイに反則金データベースが表示されます。



- 2 「▶ ボタン」または「◀ ボタン」を押して、表示内容を切り替えます。違反点数の大きい順に画面が切り替わります。

- 3 通常の画面に戻る場合は「戻るボタン」を押します。

※表示内容は2009年2月現在のものです。

※全ての交通違反は登録されていません。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

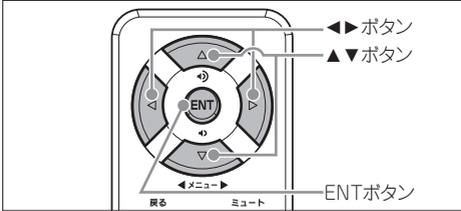
故障かな?と
思ったら

アフター
サービス

その他の機能の説明

マイカー情報登録

マイカー情報を登録することで、待受画面のエコテキストに表示されるCO₂排出量をより正確に知ることができます。



- 1 「◀ボタン」を押して「マイカー情報」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



- 2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、「ガソリン」または「ディーゼル」を選びます。
1リッターあたりの平均燃費を入力します。
数値の桁移動は「◀ボタン」または「▶ボタン」でおこないます。



数値の変更は「▼ボタン」または「▲ボタン」を押します。

- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。
これでマイカー情報が設定されます。

飲酒運転警告機能



本製品の電源を入れたときに表示されるオープニング画面で、飲酒運転を警告します。
※夜間に限ります。

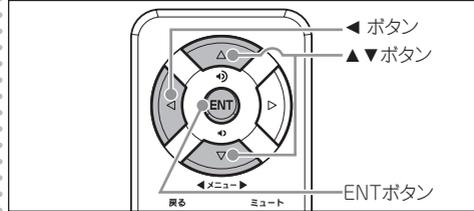
- 1 「◀ボタン」を押して「飲酒運転禁止」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



- 2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定を切り替えます。
- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

日差し注意

太陽の位置が低いため運転時に日光がまぶしく感じる朝と夕方に、ボイスガイドで注意を促します。



- 1 「◀ボタン」を押して「日差し注意」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



- 2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定を切り替えます。
- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

※マナーモード中はお知らせしません。

※日差し注意機能は実際の天候にかかわらずお知らせします。

時報アナウンス機能

毎正時に時刻をボイスガイドまたはチャイム音でお知らせします。

- 1 「◀ボタン」を押して「時報アナウンス」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



- 2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定を切り替えます。
- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

※マナーモード中はお知らせしません。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな？と
思ったら

アフター
サービス

その他の機能の説明

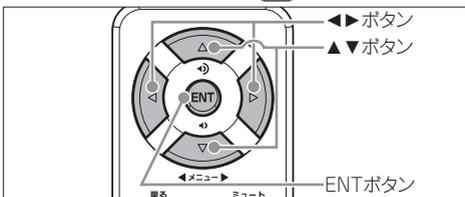
トンネル案内

高速道路の全長1キロ以上のトンネルで安全運転に向けた3つのアドバイスをおこないます。

トンネル入口案内 **トンネル出口案内** **トンネル内急加減速警告**

※個別のオン/オフの設定はできません。
※トンネル案内は、有料道路、都市高速(首都高速、阪神高速など)では警告、案内しません。

参照 GPS警告の種類と案内▶ P.21



1 「◀ボタン」を押して「トンネル案内」を選びます。



2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

安全運転アナウンス

ボイスガイドで安全運転に向けた3つのアドバイスをお知らせします。

長時間運転休憩案内 **長距離走行案内** **ヘッドライト点灯案内**

※個別のオン/オフの設定はできません。

結果	ボイスガイド
本機の電源が入ってから2時間経過	♪、2時間が経過しました。休憩しましょう。 ※以降、2時間ごとにアナウンスします。
本機の電源が入ってから100km経過	♪、100キロを経過しました。休憩しましょう。 ※以降、100kmごとにアナウンスします。
日没時刻	♪、ヘッドライトの点灯を確認してください。

1 「◀ボタン」を押して「安全運転アナウンス」を選びます。

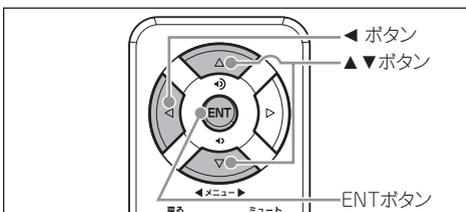


2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定を切り替えます。

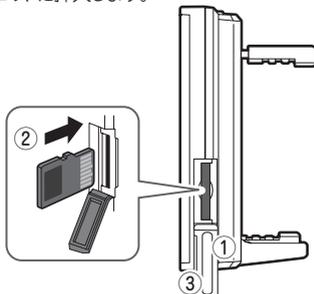
3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

GPSデータ更新

microSDカードを使用してGPSデータの更新をおこないます。詳しくは専用サイトを参照してください。
(<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>)



1 GPS更新データを入れたmicroSDカードをmicroSDスロットに挿入します。



2 「◀ボタン」を押して「データ更新」を選びます。



3 「ENTボタン」を押してGPSデータを更新します。GPSデータの更新に成功すると以下の画面が表示されます。



GPSデータの更新に失敗した場合、右の画面が表示されます。専用サイト内の説明をよく読み再度、データ更新をおこなってください。



4 電源を入れなおします。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな?と
思ったら

アフター
サービス

その他の機能の説明

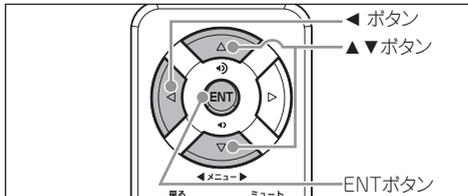
GPSスポット追加機能

登録したい場所(緯度経度、種別)をGPSスポット変換ツール(無料)を使ってGPSデータに変換することができます。出来たGPSデータは、microSDカードにコピーし、インポートすることでGPSスポットとして追加することができます。*GPSスポット変換ツールは、専用サイトからダウンロードできます。使用方法は、ツールに付属している説明書をお読みください。

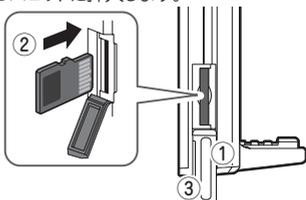
専用サイト: <http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>

免責事項 本サービスは、弊社の都合により将来予告なくを終了または内容を変更する可能性があります。また、ダウンロードしたソフトにつきましても、万一利用者へ何らかの損害が生じても誠に勝手ながら弊社は責任を負わないものとさせていただきます。あくまで利用者個人の責任においてご活用くださいようお願いいたします。

動作環境 詳細な動作環境は専用サイトを参照してください。



1 GPSスポットのデータを入れたmicroSDカードをmicroSDスロットに挿入します。



2 「◀ボタン」を押して「GPSスポット」を選びます。
◀ GPSスポット ▶ *マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。
●インポート
ENT:確定/□:戻る

3 「ENTボタン」を押してGPSスポットをインポートします。GPSデータの更新に成功すると以下の画面が表示されます。



GPSデータの更新に失敗した場合、下の画面が表示されます。専用サイト内の説明をよく読み再度、データ更新をおこなってください。



4 追加されたGPSスポットの約1キロ、500m手前で案内します。



インポートの終了後はmicroSDカードを抜いても案内することができます。

走行ログ記録

走行ログ(NMEA準拠フォーマット)を内部メモリ*に記録し、microSDカードに転送することができます。作成したデータは、市販の地図ソフトを使って、地図上に走行経路を表示することができます。

*内部メモリに約9時間記録(約1Mバイト)できます。アイドリング中のデータは、圧縮されます。

走行ログの記録を開始する

1 「◀ボタン」を押して「走行ログ」を選びます。
*マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



・オン
走行ログを記録します。
・オフ
走行ログを記録しません。

走行ログをmicroSDカードに転送する

1 「◀ボタン」を押して「走行ログ転送」を選びます。
*マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



・転送
内部メモリに記録されている走行ログをmicroSDカードに転送します。
・消去
内部メモリに記録されている走行ログを消去します。

2 「ENTボタン」を押して走行ログを転送します。

3 転送された走行ログは、専用ソフトウェアで、データを開きます。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

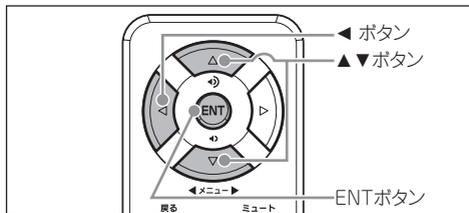
故障かな?と
思ったら

アフター
サービス

その他の機能の説明

本製品の全リセット

この操作をおこなうと、各設定や記録内容は全て消去され、工場出荷時状態に戻ります。



全リセットをおこなうと、各設定や記録内容を復帰させることはできません。リセット操作は十分に注意しておこなってください。

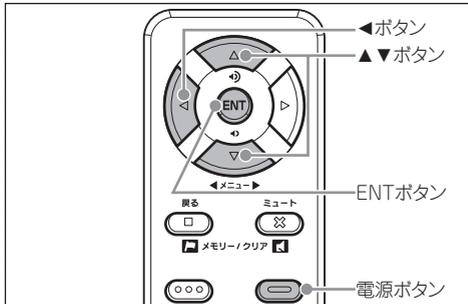
- 1 「◀ボタン」を押して「初期化」を選びます。
※マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。



- 2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、「オールリセット」を選びます。「オールリセット、オールリセット…」と繰り返しアナウンスされます
- 3 「オールリセット完了しました」とアナウンスされるまで「ENTボタン」を押し続けます。これで全リセットが完了します。

ディスプレイモード

本製品のデモを表示するディスプレイモードになります。ディスプレイモード中は、本製品の機能が全て無効になりますのでご注意ください。

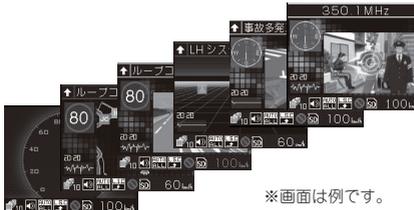


ディスプレイモードの開始

- 1 「◀ボタン」を押して「ディスプレイモード」を選びます。



- 2 「ENTボタン」を押すとディスプレイモードになります。画面と音声によるデモをおこないます。



ディスプレイモードの解除

- 1 ディスプレイモード中に、「電源ボタン」を3秒以上押し続けます。これでディスプレイモードが解除されました。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな？と
思ったら

アフター
サービス

故障かな?と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

電源が入らない

- ・DC12Vが入力されていますか。
- ・本体とDCコードが外れていませんか。

【参照】電源の取り方▶P8

機能の設定ができない

- ・「マニュアルモード」に設定されていますか。

【参照】BESTセレクト機能とは▶P25

GPS信号を受信しない

- ・GPS信号は受信可能ですか。

【参照】GPS測位について▶P31

速度取締機の警告をししない

- ・GPS信号は受信可能ですか。【参照】GPS測位について▶P31
- ・登録されていない速度取締機の可能性があります。
- ・取締機の設定が「ハイウェイ」または「シティ」になっていませんか。【参照】ロード自動選択について▶P34
- ・GPS警告ポイント消去機能が設定されていませんか。

【参照】GPS警告ポイント消去機能▶P31

GPS警告をししない

- ・設定が「解除」になっていませんか。
- ・登録されていないポイント(エリア)の可能性があります。
- ・ロード自動選択機能が「オン」になっていませんか。

【参照】BESTセレクト機能と設定一覧▶P26-P27

制限速度切替りポイントのGPS警告をししない

- ・制限速度切替りポイントの設定が「標準」で制限速度の上の地点で警告ししない設定になっていませんか。

【参照】BESTセレクト機能と設定一覧▶P26-P27

何もないのにレーダー警告音が鳴る

- ・速度取締機と同じ電波を他の機器でも使用されています。その場合、レーダー警告を出す場合があります。これは故障ではありません。あらかじめご了承ください。

- 一同じ電波を使用している機器例
- ・自動ドアの一部
- ・車両通過計測器
- ・NTTの通信回線の一部
- ・気象用、航空機用などのレーダーの一部
- ・対処療法
- ・レーダーキャンセルメモリー機能

【参照】レーダーキャンセルメモリー機能▶P33

ユーザーメモリーをお知らせしない

- ・ポイントは記録されました。
- ・反対方向などから走行していませんか。

【参照】BESTセレクト機能と設定一覧▶P26-P27

L.S.C. 機能が働かない

- ・L.S.C. 機能は「解除」になっていませんか。

【参照】L.S.C.機能▶P35

ディスプレイの中に小さな黒い点や輝点がある

- ・ディスプレイ特有の現象であり、故障ではありません。

ディスプレイに表示跡や色むらがある

- ・ディスプレイの特性によるものです。不良や故障ではありません。

無線を受信しない

- ・各種無線の設定が「解除」になっていませんか。無線は常に発信されているわけではありません。

【参照】BESTセレクト機能と設定一覧▶P26-P27

カーロケーターを受信しない

- ・カーロケの設定が「解除」になっていませんか。
- ・カーロケーターシステムを搭載していない車両の可能性があります。
- ・カーロケーターシステムが導入されていない地域の可能性があります。

【参照】カーロケーター受信▶P22

350.1MHzの音声が届かない

- ・350.1MHzの設定が「解除」になっていませんか。
- ・デジタル通信の場合、音声を聞くことはできません。
- ・350.1MHzの受信電波が弱いと、音声が届かない場合があります。

【参照】350.1MHz受信▶P22

レッカー無線を受信しない

- ・レッカー無線の設定が「解除」になっていませんか。
- ・本製品搭載のレッカー無線チャンネルは、主に東京都、兵庫県、愛知県内の一部地域で使用されているものです。
- ・レッカー無線を搭載していない車両の可能性があります。
- ・走行速度が約50km/h 以上で走行していませんか。

【参照】レッカー無線▶P23

レッカー無線以外の業務無線を受信する

- ・レッカー無線は簡易業務無線のため、その他業種の無線も受信します。

【参照】レッカー無線▶P23

各種無線を受信したままになる

- ・お車からの影響や、周囲の状況により受信したままになる場合があります。

- ・対処方法
- ・フンスキップ
- ・スキップメモリー

【参照】スキップ機能▶P37

自動的にいろいろな警告や案内を繰り返す

- ・ディスプレイモードの設定が「オン」になっていませんか。

【参照】ディスプレイモード▶P41

夜間走行中にミラーが見にくい

- ・夜間走行の際、ミラーが暗く見えづらい場合がありますが、これはハーフミラーの特性によるものであり、不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

【参照】本製品の取り付け方▶P10

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな?と思ったら

アフターサービス

アフターサービスについて

保証書について

保証書(別途添付)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのこと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間です。

修理を依頼される時

「故障かな?と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

修理・点検を依頼される場合の注意

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきまして、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データ等は全て消去されます。あらかじめご了承ください。

保証期間中のとき

(保証書に販売店名、日付印がないと無効になります)

恐れ入りますが、お買い上げの販売店まで、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定にしたがって修理いたします。

- ・ディスプレイの中に小さな黒い点や輝点が出て、保証対象になりません。
- ・焼き付けや色むらなどによるディスプレイの修理は保証対象になりません。

保証期間が過ぎているとき

お買い上げの販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

リモコンの紛失について

万一リモコンを紛失された場合は、お買い求めになった販売店までご依頼ください。

個人情報に関して

本製品に対するお問い合わせ、修理などを依頼される場合の個人情報の利用目的について

1. 当社製品・サービスなどに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
2. 製品の企画、開発、販売促進、営業活動に、お客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

当社でのお客様の個人情報取扱いについては
当社ホームページでご確認いただけます。
<http://www.cellstar.co.jp/>

GPSデータの更新について

本製品は速度取締機、取締りポイントなどの位置データを使用して製造をおこなっています。その後、速度取締機などの新設や変更などがあつた場合、その内容を反映させたデータを1年に2回を目安として更新用データを作成しております。また、更新用データの作成につきましては、製品の仕様や更新用データの都合などにより、更新用データの作成を終了させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

データ更新は選べる3プラン【入会金・年会費不要】

ダウンロードお家で更新プラン

パソコンを使用して更新データをダウンロードします。

1ダウンロード ¥2,100(税込)

専用サイト(<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>)にアクセスします。手順にしたがってmicroSDカードにコピーします。(市販のカードリーダー/ライターなどをご利用ください。)

microSDカードは別売です。



専用サイトの説明、注意事項をよく読み、手順にしたがってGPSデータを更新します。

microSDカード購入ラクラク更新プラン

更新用データ入りカードを弊社お客様相談窓口または販売店で購入します。

1枚 ¥4,725(税込)

送って更新プラン

製品を弊社に送っていただき弊社で更新を実施します。

1回 ¥5,250(税込)

お買い求めになった販売店、弊社お客様相談窓口までご依頼ください。また、データ更新作業の際に工場出荷状態に戻ってしまう場合があります。あらかじめご了承ください。

※プランによっては、別途送料が必要です。
※お客様所有のmicroSDカード(記憶媒体)へのデータ書き込みサービスは一切おこなっておりません。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

画面の説明

各機能の設定

各機能の説明

故障かな?と
思ったら

アフター
サービス

仕様・定格

■本体

- GPS受信部
 - 受信方式 : 12ch パラレル受信
 - 受信周波数 : 1575.42MHz
- レーダー受信部
 - 受信方式 : ダブルスーパーヘテロダイン方式
 - 受信周波数 : Xバンド、Kバンド
- レーンパー部
 - 受信方式 : ダブルスーパーヘテロダイン方式
 - 受信周波数 : UHF330~470MHz VHF154~162MHz
- 電源電圧 : DCコード/DC12V
- 動作温度範囲 : -10℃~+65℃
- サイズ : 272(W)×18(D)×80(H)mm ※突起部除く
- 表示部 : IPS液晶

■リモコン

- 使用電池 : リチウム電池 CR2032×1
- 動作温度範囲 : -10℃~+65℃
- サイズ : 32(W)×13(D)×66(H)mm

※改良などのため、本製品の仕様・定格などを変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※本書記載の画面表示は実際の表示と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※本書記載の警告時などの表示画面はグラフィック警告の場合のものです。

GPSデータ 約21,400件、36種類	
取締りポイント	約3,650箇所
速度取締機(8種類)	約700箇所
NHシステム、LHシステム、ループコイル、新Hシステム、オービス、可変式、トンネル出口、トンネル内	
オービス制限速度	
オービス制限速度	約700箇所
Nシステム	約1,980箇所
制限速度切替りポイント	約1,020箇所
事故多発エリア	約1,740箇所
駐車禁止(重点・最重点)エリア	約940箇所
その他	

新設速度取締機、Nシステム、取締りポイントの情報提供のお願い

本製品でお知らせできない新設された速度取締機、Nシステムの情報や高速道、一般道に関わらず有人取締りが頻繁におこなわれるエリア、追尾取締りや検問などの目撃情報がありましたら、当社カスタマーサービスまたは、e-メールなどでお知らせ頂いただけますようお願いいたします。

カスタマーサービス ☎ 0120-75-6867

(携帯電話・PHSよりおかけの方は、TEL. 046-275-6867)

e-メール : ranavi@cellstar.co.jp / ホームページ : www.cellstar.co.jp

※携帯電話などからe-メールでの情報提供をしていただき、返信メールをご希望される場合には、パソコンからのメールを受信できる状態、または、cellstar.co.jp をドメイン指定してください。詳しい設定方法については、お使いの携帯電話会社へお問い合わせください。

各地域のお客さま相談窓口一覧

■北海道地区 北海道セルスター工業株式会社

〒004-0843 札幌市清田区清田三条1-3-1
TEL.011-882-1225(代)
FAX.011-881-7251

■東北地区 セルスター工業(株)仙台営業所

〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田158
TEL.022-218-1100(代)
FAX.022-218-1110

■関東地区 セルスター工業(株)関東営業所

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32
TEL.046-273-1100(代)
FAX.046-273-1106

■セルスター工業株式会社 カスタマーサービス

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32
フリーダイヤル 0120-75-6867
TEL.046-273-1100(代)

■中部・北陸地区 中部セルスター工業株式会社

〒463-0021 愛知県名古屋守山区大森4-1002
TEL.052-798-6325(代)
FAX.052-798-6315

■関西・中国・四国地区 関西セルスター工業株式会社

〒562-0004 大阪府箕面市牧落3-8-7
TEL.072-722-1880(代)
FAX.072-722-5575

■九州地区 九州セルスター工業株式会社

〒811-1347 福岡県福岡市南区野多目1-11-8
TEL.092-552-5252(代)
FAX.092-552-5300

名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。
あらかじめご了承ください。

全国自動車用品工業会会員

<http://www.cellstar.co.jp>

CELLSTAR® セルスター工業株式会社